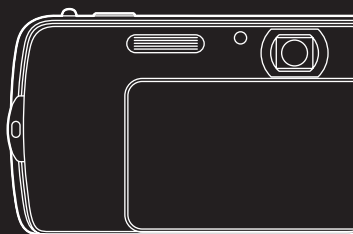
Panasonic®

取扱説明書

デジタルカメラ

品番 DMC-FP7

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（118～121ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

VQT3F02-1

楽しく カンタンに **撮る・見る**

おまかせで撮る （P21）

画面にタッチして撮る （P26）

「タッチシャッター」

見るときもタッチ （P28、29）

拡大・画像めくりもタッチで！

撮ったあとで **楽しむ・活かす**

写真で遊ぶ （P79）

「ビューティレタッチ」

簡単操作で画像を公開 （P81、93）

「LUMIX WEBアップローダー」

テレビで見る （P90）

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください。
（118 ～ 121 ページ）

はじめに

準備

基本

もくじ（つづき）

応用・撮影

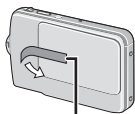
「安全上のご注意」を必ずお読みください。（118 ～ 121 ページ）

応用・再生

他の機器との接続

その他・Q & A

ご使用の前に

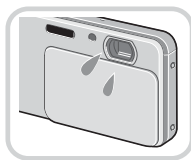
■ 本機の取り扱いについて…

レンズカバーのシールをはがしてからお使いください。
本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

● 下記のような状態で使用すると、レンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
・本機を落とす、またはぶつける
・本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる
・本機に取り付けたストラップに、アクセサリーなどをぶら下げる
・レンズ部や液晶モニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。
ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

● 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンのすき間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
・砂やほこりの多いところ
・雨の日や浜辺など水がかかるところ

正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

■ つゆつきについて(レンズがくもるとき)…

● つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
● つゆつきが起こった場合、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然にとれます。

■ 事前にためし撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけてください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ 「使用上のお願い」も、あわせてお読みください(P111)

付属品

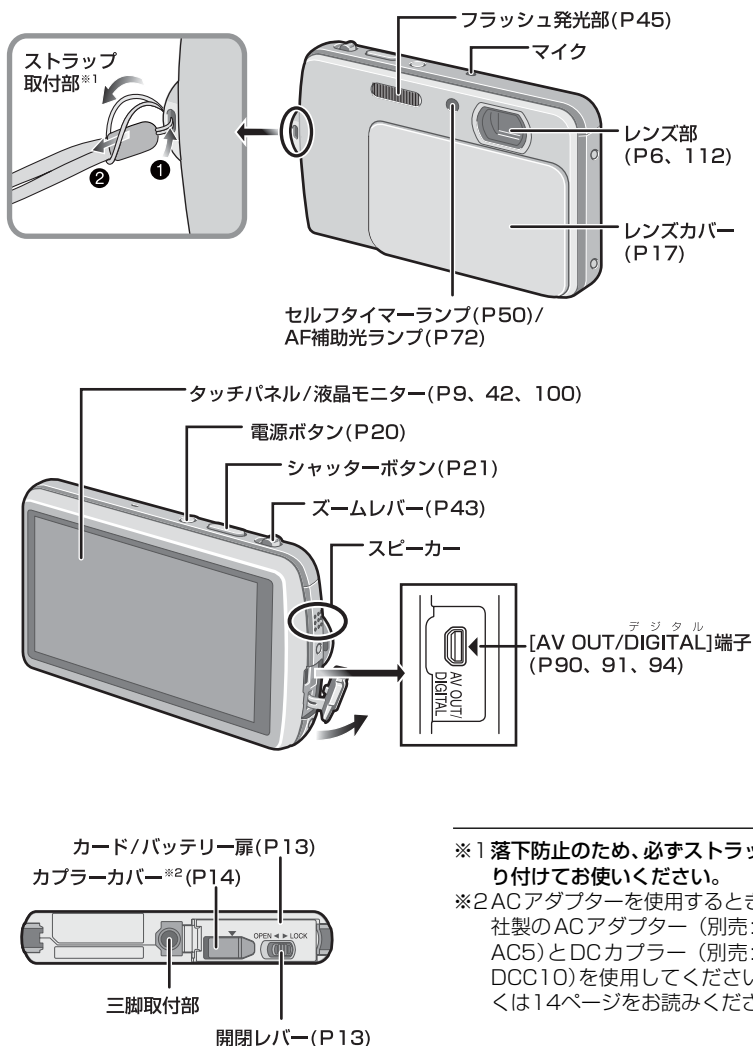
付属品をご確認ください。

記載の品番は2011年1月現在のものです。変更されることがあります。

□**バッテリーパック**※ NCA-YN101F （本文中では「バッテリー」と表記） ● 充電してからお使いください。	□**AVケーブル** K1HY08YY0020
□**バッテリーチャージャー**※ DE-A91A （本文中では「チャージャー」と表記）	□**CD-ROM** ● パソコンにソフトウェアをインストールしてお使いください。
□**ハンドストラップ** VFC4297	□**タッチペン** VGQ0C14
□**USB接続ケーブル** K1HY08YY0019	

※ 予備のバッテリーおよびチャージャーを購入されるときは、別売品のバッテリー（DMW-BCK7）またはチャージャー（DMW-BTC8）をお買い求めください。
別売品のバッテリーは付属のチャージャーでも充電できます。

- **カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。**
- 別売品については98ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

各部の名前

※1 **落下防止のため、必ずストラップを取り付けてお使いください。**

※2 ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター（別売: DMW-AC5）とDCカプラー（別売: DMW-DCC10）を使用してください。詳しくは14ページをお読みください。

タッチパネルを使う

本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。
液晶モニター（タッチパネル）上のアイコンや画像を、指や付属のタッチペンで直接触れて操作します。

タッチする タッチパネルを押して離す動作です。	ドラッグする タッチパネルを押したまま動かす動作です。
アイコンや画像などを選択したり、項目を設定するときに使います。 ● 複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しない恐れがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。	水平にドラッグして画像を送ったり、画像の表示範囲を変更するときに使います。 またスライドバーを操作してページを切り換えることもできます。

お知らせ

- 市販の液晶保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。（材質によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります）
- 市販の保護シートをはり付けて使用している場合や、反応しにくいと感じるときは、**少し強めにタッチしてください**。
- 本機を持つ手がタッチパネルを押さえていると、タッチパネルは正常に動作しません。
- 付属のタッチペン以外の先のとがったものや硬いもので押さないでください。
- 爪を立てて操作しないでください。
- 指紋などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 強い力でこすったり、押したりしないでください。
- タッチパネルに表示されるアイコンについては、100ページの「液晶モニターの表示」をお読みください。

■ タッチペンについて

指で操作しにくい場合など、細かな作業には、タッチペン（付属）が便利です。

- 乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- 収納時はタッチペンと液晶モニター（タッチパネル）を重ねないでください。強い圧力がかかると、液晶モニターが壊れる原因になります。

バッテリーを充電する

■ 本機で使えるバッテリー(2011年1月現在)

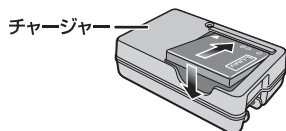
本機で使えるバッテリーは付属品またはDMW-BCK7(別売)です。

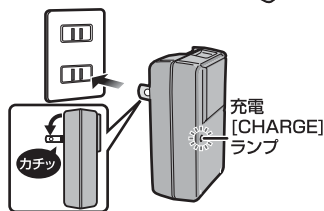
パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。

■ 充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。
- 充電は周囲の温度が10 ℃～30 ℃ (バッテリーの温度も同様)のところで行うことをおすすめします。

向きに気をつけてバッテリーを取り付ける

プラグを起こし、電源コンセントに差し込む

- [CHARGE] ランプが点灯し、充電が始まります。

■ 充電 [CHARGE] ランプ

点灯: 充電中
消灯: 充電完了(完了後はチャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外す。)

- [CHARGE] ランプが点滅するとき
  - ･温度が高すぎる、または低すぎるため、通常よりも充電に時間がかかったり充電を完了できないことがあります。
  - ･チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。乾いた布で汚れをふき取ってください。

■ 充電について

	付属のバッテリー	DMW-BCK7(別売)
充電時間 (使い切ってから充電した場合)	約115分	約120分

■ バッテリー残量表示について

液晶モニターに残量が表示されます(バッテリー使用時のみ)
- 表示が点滅したらバッテリーを充電または交換してください。

お知らせ
- 高温・低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。
- 充電中や充電直後はバッテリーが温かくなっています。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。(バッテリーが膨らむ特性があります)
- 長期間放置すると、使わなくてもバッテリーは消耗します。
- 著しく使用時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- **電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**

バッテリーを充電する（つづき）

使用時間と撮影枚数の目安

写真撮影（条件はCIPA規格で通常撮影モード時）

	付属のバッテリー	DMW-BCK7(別売)
容量	660 mAh	680 mAh
記録可能枚数	約240枚	約245枚
撮影使用時間	約120分	約122分

CIPA規格※による撮影条件

※CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。

- 温度23 ℃ / 湿度50%RH、液晶モニターを点灯
- 当社製のSDメモリーカード（32 MB）使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始（手ブレ補正［ON］使用）
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。
［例えば2分に1回撮影した場合は、上記（30秒に1回撮影）の枚数の約1/4になります］

再生

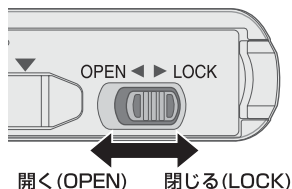
	付属のバッテリー	DMW-BCK7(別売)
再生時間	約200分	約205分

お知らせ

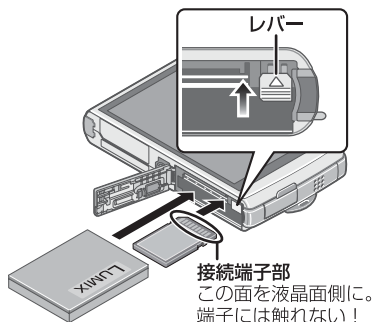
- **以下のような場合は撮影枚数と使用時間が短くなります。**
  - ・スキー場などの低温下
  - ・［液晶モード］使用時
  - ・フラッシュやズームを多用したとき

バッテリー/カード(別売)を入れる・取り出す

- 電源が切れていることを確認する。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。

1 開閉レバーをOPEN側にして、カード/バッテリー扉を開く

2 バッテリーとカードを奥まで入れる

バッテリー: 向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーにレバーがかかっていることを確認する。

カード: 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる。

■ 取り出すとき

バッテリー: レバーをマーク(△)の方向へ引く。

カード: カードの中央を指で押す。

3 カード/バッテリー扉を閉め、開閉レバーをLOCK側にする

お知らせ

- 使用後は、バッテリーを取り出してください。
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、液晶モニターのLUMIX表示が完全に消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)

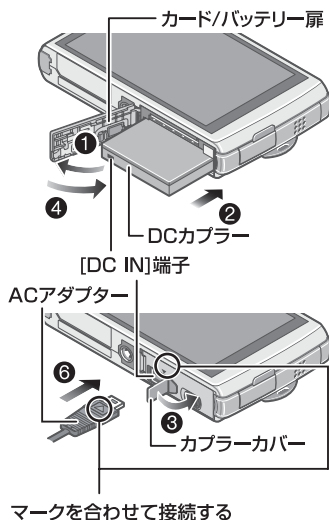
バッテリー/カード(別売)を入れる・取り出す（つづき）

■ バッテリーの代わりにACアダプター（別売）およびDCカプラー（別売）を使う

ACアダプター（別売：DMW-AC5）およびDCカプラー（別売：DMW-DCC10）は必ずセットでお買い求めください。ACアダプター（別売）は単独では使用できません。

❶ カード/バッテリー扉を開く
❷ DCカプラーを向きに気をつけて入れる
❸ カプラーカバーを開ける
- 内側からカプラーカバーを押して開けてください。

❹ カード/バッテリー扉を閉じる
- カード/バッテリー扉は確実に閉じてください。

❺ ACアダプターを電源コンセントに差し込む
❻ ACアダプターをDCカプラーの[DC IN]端子に接続する
- 必ず本機専用のACアダプターおよびDCカプラーを使用してください。それ以外を使用すると、故障の原因になることがあります。

お知らせ

- ACアダプター接続時にカード/バッテリー扉を開くときは、必ずACアダプターを抜いてください。
- 使わないときは、ACアダプターおよびDCカプラーを取り外し、カプラーカバーを閉じておいてください。
- ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書もお読みください。
- 別売品については、98ページをお読みください。

内蔵メモリー/カードについて

カードを入れているときはカード、入れていないときは内蔵メモリー[IN]に画像が保存されます。

内蔵メモリー

- **記録した画像はカードにコピーすることができます。(P89)**
- **容量:約70 MB**
- **記録できる動画: QVGA(320×240画素)のみ**
- カードの容量がなくなった場合の臨時用メモリーとしてお使いいただけます。
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

カード

本機ではSD規格に準拠した以下のカードが使用できます。(本書では、これらを**カード**と記載しています)

本機で使えるカードの種類	備考
SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/miniSDカード※1/microSDカード※1	● SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカード対応機器で使用できます。 ● SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。 ● SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/microSDHCカード※1	
SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)	

- 上記の容量以外のカードは使えません。
- 動画撮影の際は、SDスピードクラス※2が「Class6」以上のカードを使用してください。
- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

※1 専用のアダプターが必要です。(アダプターのみを本機に入れると、本機が正常に動作しません。)
※2 SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

(例) クラス6 CLASS 6

■ 内蔵メモリー・カードへのアクセス中は

アクセス表示が赤く点灯します。
[IN](内蔵メモリー)、[ ](カード)
点灯中は、画像の書き込みや読み出し、消去、フォーマットなどの動作中です。電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売)を取り外さないでください。また振動や衝撃、静電気を与えないでください。アクセス動作が途中で停止したり、データの破損や故障の原因になることがあります。

お知らせ

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。
- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをおすすめします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P41)

準備

内蔵メモリー/カードについて（つづき）

記録可能枚数・時間の目安

- 記録可能枚数・時間は目安です。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
- 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。

■ 記録可能枚数（写真：枚）

- 残り枚数が100000枚以上の場合は、[+99999]と表示されます。

記録画素数	内蔵メモリー 約70 MB	カード		
		2 GB	4 GB	16 GB
16M(4:3)	11	300	600	2450
5M(4:3)	26	650	1300	5300
0.3M(4:3)	410	10050	19940	81340

■ 記録可能時間（動画撮影時）

画質設定	内蔵メモリー 約70 MB	カード		
		2 GB	4 GB	16 GB
HD	–	10分10秒	20分30秒	1時間23分
VGA	–	21分40秒	43分10秒	2時間56分
QVGA	2分30秒	1時間2分	2時間4分	8時間28分

- 動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

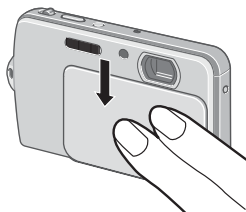
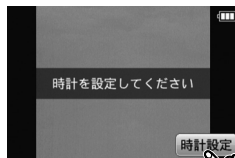
お知らせ

- 液晶モニターに表示される記録可能枚数・時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- [WEBアップロード設定]を行うと、カードの記録可能枚数・記録可能時間が減少することがあります。

時計を設定する

● お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 レンズカバーを下げる

● 電源が入り、「時計を設定してください」が表示されます。

2 [時計設定] をタッチする

3 合わせたい項目(年・月・日・時・分)をタッチして、[▲]/[▼] で設定する

● [▲]/[▼] をタッチしたままにすると、連続して設定内容を切り換えることができます。
● [↩]をタッチすると、時計を設定せずに中止することができます。

[表示順・時刻表示形式] を設定する場合

● [表示形式] をタッチすると、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。
● 表示順を変えると、以下のように表示されます。
(例:2011年12月1日10時00分)
・[月.日.年]:10:00 DEC. 1.2011
・[日. 月. 年]:10:00 1.DEC.2011
・[年.月.日]:2011.12. 1 10:00

時計を設定する（つづき）

4 ［決定］をタッチする

5 ［決定］をタッチする

時計を合わせ直す

撮影メニューまたはセットアップメニューの［時計設定］を選んでください。(P35)

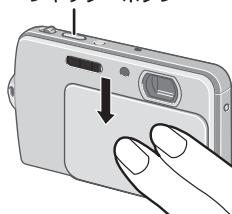
- 手順**3**、**4**の操作で変更できます。
- **バッテリーなしでも約3ヵ月間、時計設定を記憶できます。(時計用内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に24時間入れてください)**

お知らせ

- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字または日付焼き込みを行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
- 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

撮影の流れ

1 レンズカバーを下げる

撮影モードで電源が入ります。(このまま撮影できます)

2 撮影モードを選ぶ

① [◀📷]をタッチする
② モードアイコンをタッチする

- 再生状態から操作したときは、まず[📷]をタッチして撮影状態に切り換えてから①を行ってください。

撮影モード一覧

iA インテリジェントオートモード P21

カメラにおまかせで撮影します。

📷 通常撮影モード P24

お好みの設定で撮影します。

コスメティックモード P52

肌の質感を調整して撮影します。

SCN シーンモード、MS マイシーンモード P53

撮影シーンに合わせて撮影します。

動画撮影モード P30

動画を撮影します。

撮影の流れ（つづき）

3 撮影する

シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する。（詳しくはP21）

4 レンズカバーを上げる

電源が切れます。

- 電源ボタンを押しても電源が切れます。

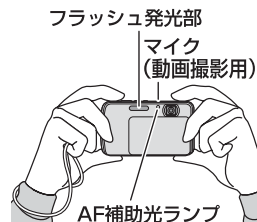
■ 撮影した画像を見るには

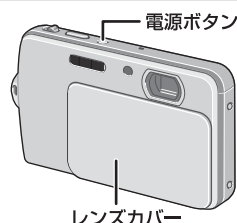
[▶] をタッチする。（詳しくはP28）

- [📷] をタッチすると撮影モードに戻ります。

カメラの構えかた

- 落下防止のため、必ずストラップを取り付けてご使用ください。
- 両手で軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構えてください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、動画撮影用のマイクを指などでふさがないでください。
- レンズ部に触らないでください。

フラッシュ発光部
マイク（動画撮影用）
AF補助光ランプ

電源の入れかた／切りかた

レンズカバーまたは電源ボタンで電源の入り切りができます。

■ レンズカバーが下がっている状態で電源が切れているとき

電源ボタンを長めに押す。
撮影状態で電源が入ります。

- レンズカバーがレンズをふさいでいる状態で電源ボタンで電源を入れると、「レンズカバーを下げてください」と表示されます。レンズカバーを下げてください。

カメラにおまかせで撮る(iA :インテリジェントオートモード)

撮影モード: iA

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラまかせで気軽に撮りたいときや初心者におすすめです。

- 以下の機能が自動的に働きます。
  - ・自動シーン判別/手ブレ補正/インテリジェントISO/顔認識/暗部補正/デジタル赤目補正/逆光補正/超解像/iAズーム

1 撮影状態で [◀📷] をタッチする

- 再生状態から操作したときは、まず[📷]をタッチして撮影状態に切り換えてから[◀📷]をタッチしてください。

2 [iA] をタッチする

3 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示(緑)が点灯します。
- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAFエリアが表示されます。
- ピントが合う範囲は10 cm(W端時)/50 cm(T端時)〜∞です。
- ズーム倍率により最至近距離(もっとも被写体に近づける距離)は変わります。

4 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

- タッチシャッター機能(P26)を使って、写真を撮影することもできます。

■ フラッシュを使って撮影するときは(P45)

- [i⚡A]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]、[i⚡S]になります。
- [i⚡A◎]または[i⚡S◎]の場合は、デジタル赤目補正が働きます。
- [i⚡S◎]、[i⚡S]のときは、シャッタースピードが遅くなります。
- フラッシュを使わないときは[⊛]を選んでください。

カメラにおまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）（つづき）

撮影モード：iA

自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

iA →

i人物	i風景	iマクロ
i夜景＆人物 ・[i⚡A]選択時のみ	i夜景	i夕焼け

- どのシーンにもあてはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- [ ]、[ ]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。（顔認識）
- [ ]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは最大8秒となります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。

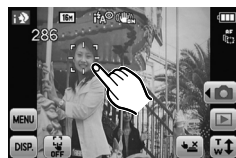
お知らせ

- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  - ・被写体条件
    顔の明暗／被写体の大きさ・色／被写体までの距離／被写体の濃淡／被写体が動いている場合
  - ・撮影条件
    夕暮れ／朝焼け／低照度／手ブレが発生した場合／ズーム倍率
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをおすすめします。
- **逆光補正について**
  - ・逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。本機では、逆光補正が自動で働きます。

動く被写体を追いかけてピントを合わせる（追尾AF）

画面をタッチするだけで狙った被写体にピントや露出が合います。その後、被写体が動いてもピントと露出を合わせ続けます。

1 撮りたい被写体を画面上でタッチする
- AFエリア（追尾AF枠）が黄色で表示され、被写体に最適なシーンをカメラが判別します。
- [ ]をタッチすると、追尾AFは解除されます。

2 シャッターボタンを半押ししてピントを固定し、全押しして撮影する

お知らせ

- あらかじめタッチシャッター機能（P26）を解除してください。（同時には使えません）
- 69ページの追尾AFのお知らせをお読みください。

インテリジェントオートモード時の設定内容

■ 撮影メニュー

[フラッシュ]※/[セルフタイマー]/[記録画素数]※/[連写]/[カラーモード]※

- [カラーモード]は[STD.]、[Happy]、[B/W]、[SEPIA]の色彩効果を設定できます。[Happy]選択時は、自動で色の明るさと鮮やかさが引き立った画像を撮影できます。

※ 他の撮影モード使用時と設定できる内容が異なります。

■ セットアップメニュー

[時計設定]/[ワールドタイム]/[操作音]/[手ブレ補正デモ]

表示されないセットアップメニューの項目は、通常撮影モードなどで設定できます。

- 以下の設定項目は固定されます。

項目	設定内容
自動電源OFF(P39)	5分
オートレビュー(P40)	2秒
ISO感度(P66)	iISO(インテリジェントISO)(最高ISO感度は[ISO1600])
ホワイトバランス(P67)	AWB

項目	設定内容
オートフォーカスモード(P68)	(顔が認識されないときは[ ])
暗部補正(P70)	ON
超解像(P70)	iA ZOOM
AF補助光(P72)	ON
デジタル赤目補正(P72)	ON
手ブレ補正(P73)	ON

- 以下の機能は使えません。
  - ・露出補正/[デジタルズーム]

基本

お好みの設定で撮る（[カメラアイコン]：通常撮影モード）

撮影モード：[カメラアイコン]

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 撮影状態で[◀[カメラアイコン]]をタッチする

- 再生状態から操作したときは、まず[[カメラアイコン]]をタッチして撮影状態に切り換えてから[◀[カメラアイコン]]をタッチしてください。

2 [[カメラアイコン]]をタッチする

3 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ピントが合う範囲は50 cm～∞です。
- さらに近づいて撮影するときは、48ページの「近づいて撮る（AFマクロ撮影／ズームマクロ撮影）」をお読みください。
- 画面をタッチしてピントや露出を合わせることもできます。（タッチAF/AE、P27）

5 シャッターボタンを全押しして撮影する

- タッチシャッター機能（P26）を使って、写真を撮影することもできます。

ピントやシャッタースピードなどの撮影情報を確認する

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	白→緑	白→赤
音	ピピッ	ピピピピッ

※1 適正露出にならないときは、赤くなります。(ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません)
※2 ズーム操作時に撮影可能範囲(ピントの合う範囲)が表示されます。

ピントが合わないとき(被写体が、撮りたい構図の中央にないときなど)

1 被写体にAFエリアを合わせ、**シャッターボタンを半押しし、**ピントと露出を固定する
2 **シャッターボタンを半押ししたまま、**撮りたい構図に本機を動かし、撮影する

- 手順**1**の操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
- 画面をタッチしてピントや露出を合わせることもできます。(タッチAF/AE、P27)

人物を撮影するときは、顔認識機能をお使いいただくことをおすすめします。(P69)

■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの/撮影可能範囲表示が赤く表示されているとき/ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき/暗いときや手ブレしているとき/被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[ ]が表示されたときは、手ブレ補正(P73)、三脚、セルフタイマー(P50)などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
  - ・赤目軽減スローシンクロ
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]/[夜景&人物]/[夜景]/[パーティー]/[キャンドル]/[星空]/[花火]/[ハイダイナミック]

縦位置検出機能について

本機を縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。(回転表示 (P40)を設定している場合のみ)

- 本機を縦に構えた状態で、上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

基本

画面をタッチしてシャッターを切る(タッチシャッター機能)

撮影モード: iA 📷 🎨 SCN MS

撮りたい被写体を画面でタッチするだけで、ピントを合わせて自動的にシャッターを切ります。

- タッチAF/AE(P27)や追尾AF(P22)と同時には使えません。

1 [ ] をタッチする

: タッチシャッター撮影可能
: タッチシャッター解除

2 撮りたい被写体をタッチする

- タッチした位置にAFエリアが表示され、自動的に撮影されます。
- 画面の端ではピントが合わず撮影できないことがあります。また、右上部分はカメラを持つときに指がかかりやすい位置なので、タッチ操作に反応しないエリアになっています。

■ 続けて写真を撮るには

[ ] が表示されている間は、画面をタッチするたびに自動的に撮影されます。

■ タッチシャッター機能を解除するには

[ ] をタッチする。([ ] 表示に変わります)

お知らせ

- タッチシャッターの設定は、電源を切っても記憶しています。

画面をタッチしてピントや露出を合わせる (タッチAF/AE)

撮影モード: iA 📷 ✎ SCN MS

撮りたい被写体をタッチするだけでピントや露出を合わせることができます。狙った被写体が画面の中央にないときなどに便利です。
[オートフォーカスモード]で[ ]を設定しているときやインテリジェントオートモード時は追尾AFが同時に働き、タッチした被写体の動きを追いかけてピントを合わせ続けます。

- あらかじめタッチシャッター機能(P26)を解除してください。

1 撮りたい被写体をタッチする

- タッチした位置にAFエリアが表示され、ピントと露出が合います。
- 追尾AFが働くときは､被写体の動きを追いかけてAFエリアが移動します。
- [ ]をタッチするとタッチAF/AEが解除されます。

2 シャッターボタンを半押ししてピントを固定し､全押しして撮影する

基本

お知らせ

- 画面の端と右上部分ではタッチしてもAFエリアを設定できないことがあります。
- インテリジェントオートモード時は、タッチした被写体に最適なシーンをカメラが判別します。

画像を見る（通常再生）

再生モード: [▶]

カードが入っているときはカード、入っていないときは内蔵メモリーの画像が再生されます。

撮影状態で [▶] をタッチする

- 撮影状態で[▶]をタッチすると自動的に通常再生モードになります。

2 画面を水平にドラッグ(P9)して画像を送る

ファイル番号
画像番号

次の画像へ送る:右から左にドラッグ
前の画像に戻す:左から右にドラッグ

- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。
- 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。(画像は縮小して表示されます)

お知らせ

- 本機は（社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。

複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

[▦]をタッチして12画面表示に切り換える

- タッチするたびに表示方法が切り換わります。

[▬](1画面)、[▦](12画面)、[▩](30画面)、[CAL](カレンダー検索、P77)

- ズームレバーを[▦](W)または[🔍](T)に動かしても切り換えることができます。
- スライドバーを上下にドラッグ(P9)すると画面を切り換えることができます。
- 画面を上下にドラッグすると少しずつ画像を切り換えることができます。
- [⊡]と表示される画像は再生できません。

再生画面を拡大する(再生ズーム)

1 拡大したい部分をしっかりとタッチする

1倍 ⇨2倍 ⇨4倍 ⇨8倍 ⇨16倍
- ズームレバーを[ ](T)側に動かしても画像を拡大することができます。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置が表示されます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。

2 画面をドラッグ(P9)して、拡大部分の位置を移動する

- [×1.0]をタッチすると、元の大きさ(1倍)に戻ります。
- [ ]をタッチ、またはズームレバーを[ ](W)側に動かしても倍率は小さくなります。

基本

再生モードを切り換えるには

1 再生状態で[◀]をタッチする

- 撮影状態から操作したときは、まず[ ]をタッチして再生状態に切り換えてから[◀]をタッチしてください。

2 モードアイコンをタッチする

[通常再生](P28)	:すべての画像を再生します。
[スライドショー](P75)	:画像を順番に再生します。
[絞り込み再生]	
[カテゴリー選択](P78)	:カテゴリーで分類した画像を再生します。
★ **[お気に入り](P78)**	:お気に入りの画像を再生します。
[カレンダー検索](P77)	:撮影した日付ごとに画像を再生します。

動画を撮る

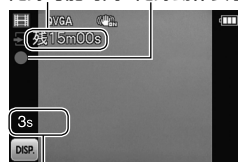
撮影モード: 🎞

音声付き動画を記録します。(音声なしの動画撮影はできません)

1 撮影状態で[◀📷]をタッチする

2 [🎞]をタッチする

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影を開始する

- シャッターボタンを押したあと、すぐに離してください。
- ピントとズームは撮影開始時の状態に固定されます。

4 シャッターボタンを押して撮影を終了する

画質設定を変更する

1 動画撮影モードで、撮影メニューから[画質設定]を選ぶ(P35)

(P35)

2 設定を選ぶ

設定	画像サイズ	コマ数	画像横縦比
HD	1280 × 720画素	24コマ/秒	16:9
VGA	640 × 480画素	30コマ/秒	4:3
QVGA	320 × 240画素		

お知らせ

- フラッシュは[(icon)] になります。
- SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。
- 液晶モニターに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。
- 本機では、音質の改善を目的として、音声の記録仕様を変更しました。そのため、本機で撮影した動画を、2008年7月以前に発売された当社製デジタルカメラ(LUMIX)で再生することはできません。
- [オートフォーカスモード]は[(icon)]、[手ブレ補正]は[ON]に固定されます。
- 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源を[ON]にしたあとしばらくの間撮影できない場合があります。
- 動画は写真と比べて、画角がやや狭くなることがあります。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売: DMW-AC5）およびDCカプラー(別売: DMW-DCC10)の使用をおすすめします。
- ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。

動画を見る

再生モード: [▶]

動画アイコンが付いた画像を選び、画面中央の [▶] をタッチして再生する

- 再生を開始すると、再生経過時間が表示されます。
  例)8分30秒のとき:8m30s

動画アイコン

動画記録時間

■ 動画再生中の操作

画面をタッチして操作アイコンを表示する。

- 約2秒間何も操作しないと操作アイコンは消えます。

[▶/❚❚]: 再生／一時停止
[■]: 終了
[▶▶]: (再生中)早送り
[◀◀]: (再生中)早戻し
[❚❚ ▶]: (一時停止中)コマ送り
[◀ ❚❚]: (一時停止中)コマ戻し
[+] [−]: 音量調整

- ズームレバーでも音量の調整ができます。
- 早送り [▶▶] ／早戻し [◀◀] 中に同じアイコンをもう一度タッチすると速度が速くなります（アイコンが [▶▶▶] ／ [◀◀◀] に変わります）。[▶/❚❚] をタッチすると通常再生に戻ります。

お知らせ

- 本機で再生できる動画のファイル形式はQuickTime Motion JPEGです。
- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はCD-ROM(付属)のソフトウェア「QuickTime」または「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。
- パソコンや他機で記録された動画は、画質が粗くなったり、本機で再生できない場合があります。

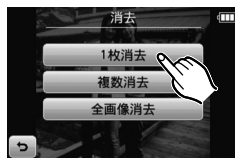
画像を消去する

再生モード: ▶

画像は一度消去すると元に戻すことができません。
- 内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が消去されます。

1枚消去

1 消去する画像を選び、[🗑] をタッチする

2 [1枚消去] をタッチする

3 [はい] をタッチする

画像を消去する（つづき）

再生モード: ▶

複数(50枚まで)/全画像消去

1 [🗑] をタッチする

2 [複数消去] または [全画像消去] をタッチする

- [全画像消去]：[全画像消去]→手順**5**へ
- [全画像消去]選択時に[★ 以外全消去]を選ぶと、お気に入り設定した画像だけを残して､それ以外の画像を消去できます。

3 ([複数消去]選択時)
消去したい画像を選ぶ（繰り返す）

- 設定した画像に[🗑]が表示されます。もう一度タッチすると設定が解除されます。

4 [実行] をタッチする

5 [はい] をタッチする

お知らせ

- 消去中は電源を切らないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を使用してください。
- 消去枚数により､時間がかかることがあります。
- DCF規格外または[プロテクト]設定された画像の場合は、[全画像消去]または[★ 以外全消去]をしても消去されません。

メニューを使って設定する

メニューを使って、お好みの撮影や再生機能を選んだり、カメラの基本設定を変更できます。
ここでは、撮影メニューの[オートフォーカスモード]を[顔](顔認識)に設定する画面を例に、操作のしかたを説明しています。

通常撮影モードにする

① [◀ 📷]をタッチする
② [📷]をタッチする
- 再生メニューを使うときは、[▶]をタッチして再生モードに切り換えてください。

[MENU] をタッチする

3 メニューの種類(P36)をタッチする

- 再生モード時は撮影メニューの代わりに再生メニューが選択できます。

メニューの種類

メニューを使って設定する（つづき）

■ メニューの種類

	撮影メニュー（撮影モード時のみ） お好みの設定で撮影したいとき（P65～73） ● 色合いや感度、画素数などが設定できます。
	再生メニュー（再生モード時のみ） 撮った画像を楽しむ、活用するとき（P81～89） ● 画像の編集や保護、プリント設定などができます。
	セットアップメニュー カメラの基本設定を変えて、より便利に使いたいとき（P38～41） ● 時計設定や操作音の切り換えなどの設定ができます。

4 メニュー項目のアイコンをタッチする

- 長めにタッチすると、説明が表示されます。
- 選択肢が多いときは、両端に[◀]/[▶]が表示されます。タッチして他の項目を表示させてください。

5 設定をタッチする

- 長めにタッチすると、説明が表示されます。
- 選択肢が多いときは、両端に[◀]/[▶]が表示されます。タッチして他の設定を表示させてください。
- 項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされかたが異なるものがあります。

■ メニューを終了するには

[↩]を数回タッチする、またはシャッターボタンを半押しする。

お知らせ

- 手順**4**、**5**で説明を表示させたあと、タッチしたまま他のアイコンまでドラッグして指を離すと、そのアイコンが選択されます。また、アイコンのない位置までドラッグして指を離すと、選択をやり直すことができます。
- お使いの状況や選んでいるモードによって、設定ができなかったり他の機能の設定が優先される場合があります。

よく使うメニューを簡単に呼び出す(ショートカット設定)

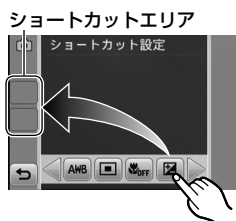
撮影メニューまたは再生メニューのうち、お好みのメニュー項目を液晶モニターに常に表示させておくことができます。
撮影メニュー、再生メニューをそれぞれ2つまで登録できます。

■ ショートカットを登録するには

① 撮影または再生メニュー画面を表示させる(P35、手順1～3)

② [M 🔧] をタッチする

- 約5秒間説明が表示されます。(すぐに消したいときは、画面をタッチしてください)

③ 登録したいメニュー項目を長めにタッチしたあと、ショートカットエリアの位置までドラッグする

■ ショートカットを解除するには

上記手順①、②のあと、解除したいアイコンを長めにタッチしてからショートカットエリア外までドラッグする。

お知らせ

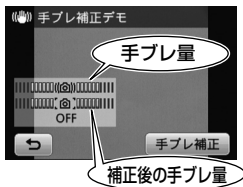
- 撮影モードによっては、登録しても使用できない項目があります。

基本

セットアップメニューを使う

[時計設定]、[自動電源OFF]、[オートレビュー]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

セットアップメニューの設定方法はP35へ

項目	設定・お知らせ
時計設定 (P17)	–
ワールドタイム (P64)	[**旅行先**]: 旅行先の地域 [**ホーム**]: お住まいの地域
トラベル日付 (P62)	[**トラベル日付設定**]: [**設定**]/[**OFF**] [**旅行先**]: [**設定**]/[**OFF**]
操作音 操作音やシャッター音を設定します。	[**操作音音量**]: [ ]:(小)/[ ]:(大)/[ ]:(なし) [**操作音音色**]: [❶]/[❷]/[❸] [**シャッター音音量**]: [ ]:(小)/[ ]:(大)/[ ]:(なし) [**シャッター音音色**]: [❶]/[❷]/[❸]
スピーカー音量 スピーカーの音量を7段階に調整します。	[0]~[6] • テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。

セットアップメニューの設定方法はP35へ

項目	設定・お知らせ
液晶モード 屋外などの明るい場所で液晶モニターが見にくいときに見やすくします。	**[(オートパワーLCD)]**：周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 **[(パワーLCD)]**：液晶モニターが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。 **[(ハイアングル)]**：カメラを頭上に構えて撮るときに見やすくなります。 **[OFF]** ● 液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ● [パワーLCD]の液晶モニターの画面は、撮影時、30秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと、再び明るく点灯します。 ● [ハイアングル]は、電源を切るか[自動電源OFF]で電源が切れると解除されます。 ● [液晶モード]設定時は記録可能枚数が減少します。 ● 再生モードでは、[オートパワーLCD]または[ハイアングル]は選択できません。
フォーカスアイコン フォーカスアイコンのデザインを変更します。	**[●]／[ ]／[ ]／[ ]／[ ]／[ ]**
自動電源OFF 何も操作せずに一定時間が経過すると、自動的に電源が切れます。	**[2MIN.(2分)]／[5MIN.(5分)]／[10MIN.(10分)]／[OFF]** ● 次のときは働きません。 ・ACアダプター使用時　・パソコンまたはプリンター接続時 ・動画撮影／再生時　・スライドショー時 ・自動デモ表示中 ● 次の場合は設定が固定されます。 ・インテリジェントオートモード時は[5分]

基本

セットアップメニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ
オートレビュー 撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	[1SEC.(1秒)]／[2SEC.(2秒)]／[HOLD]([終了]をタッチするまで表示)／[OFF] ● [連写]、シーンモードの[高速連写]、[フラッシュ連写]、[フォトフレーム]時は、設定にかかわらずオートレビューされます。設定の変更はできません。 ● インテリジェントオートモード時は[2秒]に固定されます。 ● 動画撮影では働きません。
設定リセット 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	**撮影設定** **セットアップ設定** ● 撮影時に撮影設定をリセットすると、レンズのリセット動作も同時に行います。レンズの動作音がしますが、異常ではありません。 ● 撮影設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。 ・マイシーンモードの登録設定 ● セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。 ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の誕生日設定、名前設定 ・[トラベル日付]の設定内容(出発日、帰着日、旅行先) ・[ワールドタイム]の設定内容 ● フォルダー番号、時計の設定は変わりません。
映像出力 テレビの種類に合わせて設定します。 (再生モードのみ)	**[ビデオ出力方式]** 各国のカラーテレビの出力方式に合わせてください。 [NTSC]／[PAL] **[TV画面タイプ]** [16:9]:画面が16:9のテレビと接続時 [4:3]: 画面が4:3のテレビと接続時 ● AVケーブル接続時に働きます。
回転表示 縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動的に縦向き表示させます。	[ ]:自動で縦向き [ ]:テレビで見るときだけ自動で縦向き [OFF]

セットアップメニューの設定方法はP35へ

項目	設定・お知らせ
バージョン表示	● 本体のファームウェアバージョンを確認できます。
フォーマット 内蔵メモリーまたはカードをフォーマット(初期化)します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください。**	● フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を使用し、フォーマット中は電源を切らないでください。 ● カードが入っている場合はカードのみフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。 ● 他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。 ● カードより内蔵メモリーの方がフォーマットに時間がかかる場合があります。 ● フォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。
タッチパネル調整 タッチしたものと違うものが選択されたり、タッチ操作が反応しなかった場合などに、タッチパネルの位置調整をします。	**1 [開始]をタッチする** **2 画面に表示されるオレンジ色の+マークを、タッチペン(付属)で順番にタッチする(5カ所)** ● 位置調整が完了するとメッセージが表示されます。 ● 設定後はメニューを終了してください。 ● 正しい位置をタッチしなかった場合、タッチパネル調整は行われません。+マークをタッチし直してください。
デモモード [手ブレ補正デモ]や本機の特長を表示します。	**[手ブレ補正デモ]**:カメラが感知した手ブレ量の目安を表示 **[自動デモ]**:本機の特長をスライドショーで表示 [ON]／[OFF] ● [手ブレ補正デモ]中に[手ブレ補正]をタッチするごとに、手ブレ補正がONとOFFに切り換わります。 ● [自動デモ]はテレビ出力されません。

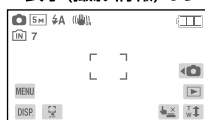
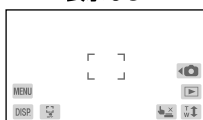
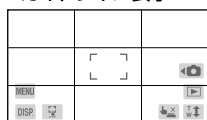
基本

液晶モニターの表示を切り換える

[DISP.] をタッチして切り換える

- 再生ズーム時、動画再生中、スライドショー中は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

撮影時

再生時

※ 一定時間何も操作をしないと、以下のアイコンだけが残ります。
撮影時：[ ]/[ ]/[DISP.]　　再生時：[ ]/[DISP.]

お知らせ

- シーンモードの[フォトフレーム]では、ガイドラインは表示されません。

■ ガイドライン表示について

撮影時、バランスなど構図の参考にします。

ズームを使って撮る

撮影モード: iA 📷 SCN MS 🎞

光学ズーム/EX光学ズーム(EZ)/iAズーム/デジタルズームで撮る

光学ズームでは4倍、記録画素数を下げるとEX光学ズームが働き、最大9.0倍までズームできます。
さらにズームしたいときは、iAズーム、デジタルズームが使えます。

広く撮るには(広角)
ズームレバーをW側にする

大きく撮るには(望遠)
ズームレバーをT側にする

■ ズームの種類

種類	光学ズーム	EX光学ズーム(EZ)
最大倍率	4倍	9.0倍※
画質	劣化しない	劣化しない
条件	なし	EZ 付きの記録画素数(P65)を選ぶ
画面表示	W T	EZ W T EZを表示

種類	iAズーム	デジタルズーム
最大倍率	光学ズームまたはEX光学ズームの約1.3倍	光学ズーム、EX光学ズームまたはiAズームの4倍
画質	ほとんど劣化しない	拡大するほど劣化する
条件	撮影メニューの[超解像](P70)を[iA ZOOM]に設定する	撮影メニューの[デジタルズーム](P71)を[ON]に設定する
画面表示	iA ZOOM W T EZ iA ZOOM W T iA ZOOM を表示	W T EZ W T iA ZOOM W T EZ iA ZOOM W T デジタルズーム領域を表示

- **ズーム時は、ズーム表示のバーと連動して撮影可能範囲の目安が表示されます。(例:0.5m－∞)**

※ 記録画素数や画像横縦比により変わります。

■ EX光学ズームの仕組み

例えば[3M](300万画素相当)の写真を撮影する場合、CCDの持つ全領域(有効画素数)のうち、中央の3M(300万画素相当)分だけを切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

ズームを使って撮る（つづき）

撮影モード: iA 📷 SCN MS

お知らせ

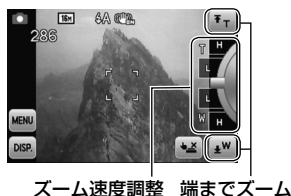
- ズーム倍率は目安です。
- EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。
- iAズームでは超解像技術によって、画像をほとんど劣化させずにズーム倍率を上げることができます。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー(P50)を使って撮影することをおすすめします。
- インテリジェントオートモード、コスメティックモードまたはシーンモード※時、[超解像]は[iA ZOOM]に固定されます。動画撮影時またはズームマクロ撮影時は[iA ZOOM]は働きません。
  ※[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]時は使えません。
- 以下の場合、EX光学ズームは使えません。
  ・ズームマクロ撮影時
  ・シーンモードの[変身]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[フォトフレーム]
  ・動画撮影時
- 以下の場合、デジタルズームは使えません。
  ・シーンモードの[変身]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、[フォトフレーム]
  ・インテリジェントオートモード

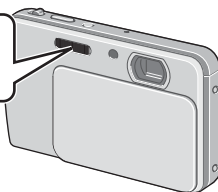
タッチ操作でズームを使う(タッチズーム)

[T/W]をタッチする

液晶モニターにズームレバーのアイコンが表示されます。

2 [W]または[T]アイコンをタッチする

- W端またはT端まで移動します。途中で停止させるにはもう一度タッチしてください。
- 中央のアイコンをドラッグすると、速度を調整しながらズームできます。
  ([L]:ゆっくり、[H]:早く)
- 約5秒間何も操作をしないと元の画面に戻ります。

フラッシュを使って撮る

撮影モード: iA 📷 🎨 SCN MS

フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 撮影メニューから[フラッシュ]を選ぶ(P35)

2 設定を選ぶ

設定	設定内容
⚡A :オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
⚡A👁 :赤目軽減オート※	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る(赤目現象)のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ● **暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。**
⚡ :強制発光 ⚡👁 :赤目軽減強制発光※	フラッシュを強制的に発光させます。 ● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。**
⚡S👁 : 赤目軽減スローシンクロ※	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 ● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。**
⊘ :発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**

※ フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。

フラッシュを使って撮る（つづき）

撮影モード: iA 📷 SCN MS

■ デジタル赤目補正について

[デジタル赤目補正](P72)を[ON]に設定し、赤目軽減([⚡A◎])、[⚡◎])、[⚡S◎])選択時にフラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。([オートフォーカスモード]が[顔]で顔認識しているときのみ)

- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。
- [ON]に設定すると、フラッシュのアイコンに[✎]が表示されます。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
(○: 設定可、×: 設定不可、◎: シーンモード初期設定)

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡◎	⚡S◎	⊘
iA	○※1	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	◎	○
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	○	◎	○
	×	×	×	○	○	◎
	○	◎	○	×	×	○

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡◎	⚡S◎	⊘
	○	◎	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	×
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	○	◎
	◎	○	○	×	×	○

※1 [i⚡A]と表示されます。被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]、[i⚡S]の働きになります。

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源を切っても記憶しています。シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定はモードを変更するたびに初期設定に戻ります。
- 動画撮影時はフラッシュは発光しません。

■ ISO感度[ISO]設定時のフラッシュ撮影可能範囲

W端時	約30 cm～約4.9 m
T端時	約50 cm～約2.9 m

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A	1/60～1/1600秒
⚡A◎	
⚡ ⚡◎	

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡S◎	1～1/1600秒 1～または1/4～1/1600秒※2
⊛	

- ※2でシャッタースピードが最大1秒になるのは、以下の場合です。
  - ・[手ブレ補正]が[OFF]のとき
  - ・[手ブレ補正]設定時に、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき
- インテリジェントオートモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。
- シーンモード時のシャッタースピードは上表と異なります。

お知らせ

- フラッシュに物を近づけると熱や光で変形、変色する場合があります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンモードの[フラッシュ連写]やシャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

近づいて撮る（AFマクロ撮影／ズームマクロ撮影）

撮影モード：📷

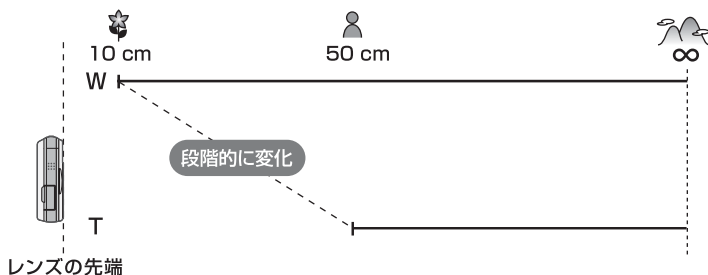
1 撮影メニューから[マクロ撮影モード]を選ぶ（P35）

2 設定を選ぶ

- AFマクロ撮影時は[AF🌷]、ズームマクロ撮影時は[🔍]が表示されます。
- 解除するには[OFF]を選んでください。

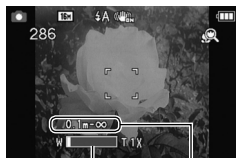
AFマクロ撮影

花などの被写体に近づいて撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角（W端）にすると、レンズから10 cmまで接近して撮影できます。
- ピントが合う範囲はズーム位置によって段階的に変化します。

■ AFマクロ撮影時のピントの合う範囲

ズームマクロ撮影

被写体に近づいて、さらに拡大して撮りたいときに合わせてください。W端の距離(10 cm)のまま、最大3倍までデジタルズームして撮影します。

デジタルズーム領域表示(青色)　撮影可能範囲表示

- ズームの位置にかかわらず、ピントの合う範囲は10 cm～∞になります。
- ズーム領域表示は青色(デジタルズーム領域)になります。
- 通常撮影時よりも画質が劣化します。
- [オートフォーカスモード]の[ ]設定時はズームマクロ撮影できません。
- 以下の機能は働きません。
  ・EX光学ズーム
  ・iAズーム

お知らせ

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[ ]にすることをおすすめします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- マクロ撮影時は近距離側を優先するため、被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。

セルフタイマーを使って撮る

撮影モード: iA 📷 🎨 SCN MS

1 撮影メニューから［セルフタイマー］を選ぶ（P35）

（P35）

2 設定を選ぶ

- 設定後はメニューを終了してください。

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- セルフタイマーランプが点滅し、10秒（または2秒）後に撮影動作が開始されます。
- セルフタイマー動作中に［中止］をタッチすると、セルフタイマー設定が解除されます。

セルフタイマーランプ

お知らせ

- セルフタイマーを2秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのためにAF補助光として明るく点灯することがあります。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
- シーンモードの［フラッシュ連写］の撮影枚数は、5枚に固定されます。
- シーンモードの［自分撮り］時は10秒に設定できません。
- 以下の場合、セルフタイマーの設定はできません。
  - ・シーンモードの［高速連写］
  - ・動画撮影時

露出を補正して撮る

撮影モード: SCN MS

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出アンダー

露出をプラス方向に補正してください。

適正露出

露出をマイナス方向に補正してください。

露出オーバー

1 撮影メニューから[露出補正]を選ぶ(P35)

2 スライドバーをタッチして露出を補正する

- 露出を補正しない場合は、"0EV"を選んでください。

お知らせ

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- 設定した 露出補正量は、電源を切っても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- シーンモードの[星空]時は、露出補正は使えません。

肌の質感を変えて撮る（ :コスメティックモード）

撮影モード:

肌の質感や透明感を設定し撮影することができます。

1 撮影状態で [◀] をタッチする

2 [ ] をタッチする

3 項目と効果の強さをそれぞれタッチして選ぶ

項目　効果の強さ

項目	内容
美白肌	美白肌で撮影したいとき
ナチュラル肌	肌本来の美しさを引き出したいとき
褐色肌	ビーチなどで健康的な褐色肌にしたいとき

- それぞれ3段階の透明感を選べます。

4 [OK] をタッチする

■ 設定をやり直すには

手順**1**～**3**を行う。

お知らせ

- 肌色が検出されないときは効果がありません。
- 設定は、電源を切っても記憶しています。
- カメラが自動で最適に調整するため、[ISO感度]、[暗部補正]、[超解像]、[カラーモード]の設定はできません。
- タッチシャッター機能(P26)または、タッチAF/AE(P27)を使うことができます。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）

撮影モード：SCN MS

被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 撮影状態で[◀📷]をタッチする

2 [SCN]をタッチする

3 設定したいシーンをタッチする

● [◀]/[▶]をタッチすると、シーン一覧のページを切り換えることができます。

■ シーンを選び直すには

手順**1**～**3**を行う。

お知らせ

● シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、[ISO感度]、[暗部補正]、[超解像]、[カラーモード]の設定はできません。
● タッチシャッター機能(P26)またはタッチAF/AE(P27)を使うことができます。

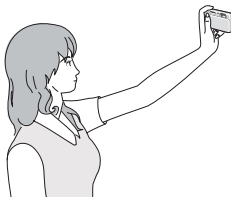
よく使うシーンをすばやく呼び出す（MS：マイシーンモード）

よく使うシーンをマイシーンモードに登録しておくと、すぐに撮影できるので便利です。

1 撮影状態で[◀📷]→[MS]をタッチする

2 シーンをタッチする

選んだシーンがマイシーンに登録されます。

● 次回から[マイシーンモード]を選ぶだけで、すぐに登録したシーンで撮影できます。

■ 登録したシーンを選び直すには

マイシーンモードで[MENU]→[SCN]をタッチし、シーンを選び直す。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（つづき）

撮影モード：SCN MS

項目	設定・お知らせ
人物 昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に撮影できます。	**撮影のテクニック** ● ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
変身 スリムもしくはグラマラスに撮影することができ、同時に肌をきれいに撮影することができます。	**変身レベル設定** **変身のレベルを選ぶ** ● [記録画素数]は以下のように固定されます。 ・[3M](4:3)、[2.5M](3:2)、[2M](16:9)、[2.5M](1:1) ● 公序良俗に反する目的やひぼう中傷目的で利用しないでください。
自分撮り 自分を撮りたいときに合わせてください。	**撮影のテクニック** ● シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと、セルフタイマーランプが点灯します。手ブレしないようにしっかりと構えて、シャッターボタンを全押ししてください。 ● セルフタイマーランプが点滅しているときは、ピントが合っていませんので、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。 ● シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいときは、2秒セルフタイマーの使用をおすすめします。
風景 広がりのある風景を撮影できます。	―

項目	設定・お知らせ
パノラマアシスト パノラマ画像を作るのに適したつながりのある画像を撮影できます。	**撮影する方向の設定** **1 撮影する方向を選ぶ** ● 水平/垂直ガイドが表示されます。 **2 撮影する** ● [撮り直し]を選ぶと、撮影をやり直すことができます。 **3 [次の撮影]をタッチする** ● 撮影した画像の一部が透過画像として表示されます。 **4 透過画像が重なるように構図を水平、または垂直に移動して撮影する** ● 3枚目以降を撮影するときは、手順**3**、**4**を繰り返してください。 ● [撮り直し]を選ぶと、撮影をやり直すことができます。 **5 [完了]をタッチする** ● ピント･ズーム･露出･ホワイトバランス･シャッタースピード･ISO感度は、1枚目の設定に固定されます。 ● 三脚の使用をおすすめします。暗いときは、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● シャッタースピードは最大8秒になります。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ● 撮影した画像はCD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパノラマ画像に合成することができます。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（つづき）

撮影モード：SCN MS

項目	設定・お知らせ
スポーツ スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。	● シャッタースピードは最大1秒になります。 ● 5 m以上離れた被写体の撮影に適しています。 ● インテリジェントISOが働き、最高ISO感度は[ISO1600]になります。
夜景＆人物 人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュをお使いください。([⚡S◎] に設定できます)** ● 被写体の人に、撮影中はなるべく動かないように伝えてください。 ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● シャッタースピードは最大8秒になります。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
夜景 夜景を鮮やかに撮影できます。	● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● シャッタースピードは最大8秒になります。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
料理 レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。	—

項目	設定・お知らせ
パーティー 結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** **● フラッシュをお使いください。([⚡S◎] または [⚡◎] に設定できます)** ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● ズームをW端(広角)にして、被写体から約1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。
キャンドル ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。	**撮影のテクニック** ● フラッシュを使わずに撮影すると、より効果的です。 ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● シャッタースピードは最大1秒になります。
赤ちゃん1/赤ちゃん2 赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。[赤ちゃん1]と[赤ちゃん 2]のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P82)で撮影画像に焼き込むことができます。	**誕生日/名前を設定する** **1 [月齢/年齢]または[名前]の[設定]を選ぶ** **2 誕生日/名前を入力する** 誕生日:各項目の[▲]/[▼]をタッチして年･月･日を設定し、[決定]をタッチする。 名前: 文字入力の方法については74ページの「文字を入力する」をお読みください。 ● 誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。 ● 誕生日/名前が登録されていない場合に[ON]にすると、自動的に設定画面が表示されます。 ● 設定後はメニューを終了してください。 **月齢/年齢や名前の表示を解除するには** 手順**1**で[OFF]に設定してください。 ● CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って月齢/年齢や名前をプリントすることができます。 ● 誕生日や名前を設定していても[月齢/年齢]または[名前]を[OFF]にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。 ● シャッタースピードは最大1秒になります。 ● インテリジェントISOが働き、最高ISO感度は[ISO1600]になります。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（つづき）

撮影モード：SCN MS

項目	設定・お知らせ
ペット ペットの誕生日や名前を設定できます。	[月齢/年齢]、[名前]については、57ページの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。
夕焼け 夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。	―
高感度 薄暗い室内で被写体のブレをおさえて撮影できます。（高感度処理を行い、自動的に[ISO1600]から[ISO6400]の間で変化します）	**記録画素数設定** 記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。 ● [超解像]は[ON]に固定されます。
高速連写 高速連写により、すばやい動きや決定的瞬間を狙うのに便利です。	**記録画素数設定** 記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。 ● シャッターボタンを全押ししている間、写真を連続して撮影します。 最高連写速度：約4.4コマ/秒 連写枚数：約15枚～100枚 ● 連写速度は、撮影条件によって変化します。 ● 連写枚数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。 ● フォーマット直後は連写枚数が増加する場合があります。 ● [超解像]は[ON]に固定されます。 ● ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO感度は、1枚目の設定に固定されます。 ● [ISO感度]は、自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO感度は高めになります。 ● 撮影を繰り返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。

項目	設定・お知らせ
フラッシュ連写 フラッシュ発光しながら連写します。暗い場所で連写撮影をしたいときに便利です。	**記録画素数設定** 記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。 ● シャッターボタンを全押ししている間、写真を連続して撮影します。 連写枚数:最大5枚 ● [超解像]は[OFF]に固定されます。 ● ピント・ズーム・露出・シャッタースピード・ISO感度・フラッシュ発光量は、1枚目の設定に固定されます。
星空 星空や暗い被写体を鮮明に撮影できます。	**シャッタースピード設定** シャッタースピードを15秒、30秒、60秒から選択します。 ● シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。 **撮影のテクニック** ● 15秒、30秒、60秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（つづき）

撮影モード：SCN MS

項目	設定・お知らせ
花火 夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● シャッタースピードが遅くなるため、三脚の使用をおすすめします。 ● 被写体までの距離が10 m以上のときに最適です。 ● シャッタースピードは1/4秒または2秒になります。 ● 露出補正をすると、シャッタースピードを変えることができます。
ビーチ 海や空などの青色をより鮮やかにし、強い太陽の下でも人物を暗くせずに撮影できます。	● ぬれた手で触らないでください。
雪 スキー場や雪山などの白い雪を白く出すように撮影できます。	―
空撮 飛行機の中から窓越しの景色を撮影するときに最適です。	**撮影のテクニック** ● 雲などを撮影する際に、ピントが合いにくい場合は、コントラスト（濃淡）の高いところで半押ししてピントを合わせ、ピントが合った状態のまま、撮りたい被写体に向けて全押しして撮影することをおすすめします。 ● 窓への映り込みにお気をつけください。
ピンホール 被写体の周辺を暗くし、ソフトフォーカスで撮影できます。	● [超解像] は [OFF] に固定されます。 ● 画面周辺の暗い部分では、顔認識機能が正常に働かない場合があります。

項目	設定・お知らせ
サンドブラスト 砂を吹きつけたようなざらざらとした感じの白黒画像を撮影できます。	● [ISO感度]は[ISO1600]に固定されます。
ハイダイナミック 逆光の風景や夜景などのシーンで、暗いところから明るいところまで適度な明るさで表現した写真を簡単に撮影することができます。	**効果の設定** [STD.]：自然な色合いの効果 [ART]：コントラストと色を強調した印象的な効果 [B&W]：白黒の効果 ● [ISO感度]は[ISO400]に固定されます。 ● 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 ● 暗いときは、三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● シャッタースピードは最大8秒になります。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ● 暗い部分を明るく補正するため、通常撮影よりも液晶画面のノイズが目立つ場合があります。
フォトフレーム 画像にフレームをつけて撮影します。	**使用するフレームの設定** 3種類のフレームから選択します。 ● 記録画素数は2M(4:3)に固定されます。 ● 画面に表示されるフレームの色と、実際に撮影される画像のフレームの色は異なりますが、故障ではありません。

旅行先で便利な機能（トラベル日付/ワールドタイム）

撮影モード: iA 📷 ✎ SCN MS 🎞

旅行の経過日数を記録する（トラベル日付）

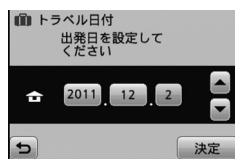
旅行の出発日や旅行先を設定しておくと、撮影時に旅行の経過日数（何日目か）などが記録されます。記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P82）で撮影画像に焼き込むことができます。

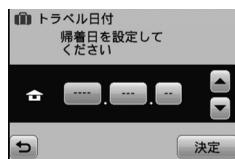
- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。
- **あらかじめ[時計設定]（P17）で、現在の時刻を合わせておいてください。**

1 セットアップメニューから[トラベル日付]を選ぶ（P35）

2 [トラベル日付設定]をタッチする

3 [設定]をタッチする

4 年・月・日をタッチして[▲]/[▼]で出発日を設定し、[決定]をタッチする

5 年・月・日をタッチして[▲]/[▼]で帰着日を設定し、[決定]をタッチする

- 帰着日を設定しない場合は、バー表示の状態で[決定]をタッチしてください。

6 [旅行先]をタッチする

7 [設定]をタッチする

8 旅行先を入力する

- 文字入力の方法については、74ページの「文字を入力する」をお読みください。
- 設定後はメニューを終了してください。

■ トラベル日付を解除するには

現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。途中で解除したい場合は、手順**3**、**7**の画面で[OFF]をタッチしてください。
また、手順**3**で[トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。

お知らせ

- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。
  ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- 設定したトラベル日付は、電源を切っても記憶しています。
- トラベル日付を[OFF]に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後にトラベル日付を[設定]にしても表示されません。
- 出発日より前は、日付情報は記録されません。
- 動画撮影の際、[旅行先]は記録できません。
- インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。

旅行先で便利な機能（トラベル日付/ワールドタイム）（つづき）

撮影モード: iA SCN MS

海外旅行先の日時を記録する（ワールドタイム）

旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。

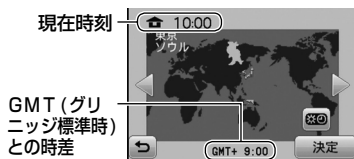
- **あらかじめ［時計設定］（P17）で、現在の時刻を合わせておいてください。**

1 セットアップメニューから［ワールドタイム］を選ぶ（P35）

- お買い上げ時は、「ホームエリアを設定してください」と表示されます。［設定］をタッチして、手順**3**の画面から設定してください。

2 ［ホーム］（お住まいの地域）をタッチする

3 ［◀］/［▶］でお住まいの地域を選び、［決定］をタッチする

- ホームがサマータイム［☼◷］（夏時間）を採用している場合は、［☼◷］をタッチしてください。（時計が1時間進みます）もう一度タッチすると元に戻ります。

4 ［旅行先］をタッチする

- 「旅行先」または「ホーム」の選ばれているほうの時間が表示されます。

5 ［◀］/［▶］で旅行先のあるエリアを選び、［決定］をタッチする

- 旅行先がサマータイム［☼◷］（夏時間）を採用している場合は、［☼◷］をタッチしてください。（時計が1時間進みます）もう一度タッチすると元に戻ります。
- 設定後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 旅行から戻ったら、手順**1**、**2**、**3**の操作を行って、設定をホームに戻してください。
- すでにホームを設定している場合は、旅行先のみ変更してお使いください。
- 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。
- 旅行先で撮影された画像には、再生時、画面に［✈］が表示されます。

撮影メニューを使う

フラッシュ

設定方法について（P45）

セルフタイマー

設定方法について（P50）

記録画素数

記録画素数を設定します。画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

■使えるモード： iA 📷 SCN MS

■設定

設定	画素数
[4:3、16M]	4608×3456
[4:3、10M EZ]※	3648×2736
[4:3、5M EZ]	2560×1920
[4:3、3M EZ]※	2048×1536
[4:3、0.3M EZ]	640×480
[3:2、14M]	4608×3072
[16:9、12M]	4608×2592
[1:1、12M]	3456×3456

※インテリジェントオートモード時は設定できません。

- [4:3]、[16:9]などは、写真の横縦比を表します。
- ズームマクロ設定時またはシーンモードの[変身]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[フォトフレーム]では、EX光学ズームが働きませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。

画質設定

設定方法について（P30）

撮影メニューを使う（つづき）

ISO感度

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

■**使えるモード:** 📷
■**設定:** [iISO]、[100]、[200]、[400]、[800]、[1600]

ISO感度	100 ⟷	1600
撮影場所(おすすめ)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い

ISO感度	設定内容
iISO 最大[ISO1600] (インテリジェント)	被写体の動きと明るさに応じて、ISO感度を調整します。
100/200/400/800/1600	それぞれのISO 感度に固定します。

■ **iISO(インテリジェントISO感度コントロール)とは**
被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレをおさえます。
- シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。実際のシャッタースピードは再生画像の情報表示でご確認ください。

お知らせ
- [iISO]設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、47ページをお読みください。
- シーンモードの[スポーツ]、[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]、[フラッシュ連写]では[iISO]に固定されます。

ホワイトバランス

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

■使えるモード：[撮影モードアイコン]

■設定：[AWB]（自動調整）、[晴天アイコン]（晴天の屋外）、[曇りアイコン]（曇りの屋外）、[日陰アイコン]（晴天時の日陰）、[白熱灯アイコン]（白熱灯下）、[セットアイコン]（[セットSETアイコン]で設定した値を使用）

お知らせ

- 蛍光灯下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[セットSETアイコン]をご使用ください。
- 電源を切っても設定したホワイトバランスは記憶されます。（シーンモードを変更すると、ホワイトバランスは[AWB]に戻ります）
- 以下のシーンモードでは、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。

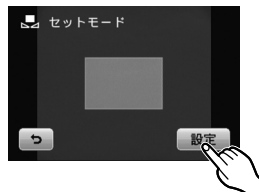
·[風景]	·[夜景&人物]	·[夜景]
·[料理]	·[パーティー]	·[キャンドル]
·[夕焼け]	·[フラッシュ連写]	·[星空]
·[花火]	·[ビーチ]	·[雪]
·[空撮]	·[サンドブラスト]	

■ 手動でホワイトバランスを設定する

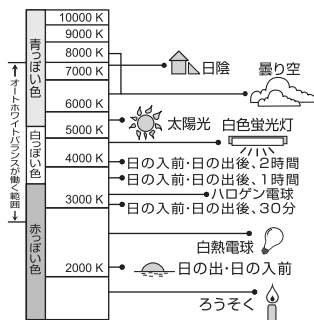
ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

1 [セットアイコン]を選び、[セットSETアイコン]を選ぶ

2 白い紙など白いものだけを枠内に写し、[設定]をタッチする

- 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは適正な明るさに調整して再度設定してください。

撮影メニューを使う（つづき）

■ オートホワイトバランスについて

撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。

オートフォーカスモード

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを選択できます。

■使えるモード： SCN MS

■設定

[ ]（顔認識）	人の顔を自動的に検知します。（最大15個）認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。
[ ]（追尾AF）	指定した被写体にピントを合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントを合わせ続けます。（動体追尾）
[ ]（11点）	最大11点までピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。
[ ]（1点）	中央のAFエリア内にピントを合わせます。

お知らせ

- 人物以外の被写体をカメラが誤って顔と認識する場合は、オートフォーカスモードを[ ]以外に設定してください。
- シーンモードの[パノラマアシスト]、[夜景]、[料理]、[星空]、[花火]、[空撮]では[ ]に設定できません。

撮影メニューの設定方法はP35へ

■ [icon] (顔認識)について

カメラが顔を認識すると以下の色のAFエリア枠が表示されます。

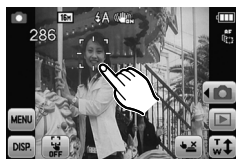
黄色:シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色:複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。

- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[ ]に切り換わります。
  - ・顔が正面を向いていない/傾いている/極端に明るいまたは暗い/サングラスなどで隠れている/小さく写っている
  - ・顔の陰影が少ない
  - ・動きが速い
  - ・被写体が人物以外である
  - ・手ブレしている
  - ・デジタルズーム使用時

■ [icon] (追尾AF)について

画面上で被写体をタッチすると、その被写体が追尾AFの対象になります。

- AFエリア(追尾AF枠)が黄色で表示されます。その後被写体が動いてもピントと露出を合わせ続けます。
- 被写体を選び直すには、[ ]をタッチしてからもう一度操作してください。

お知らせ

- 以下の場合など、撮影や被写体の条件によっては被写体の認識に失敗したり、被写体の動きを見失ったり、他の被写体を追尾することがあります。
  - ・被写体が小さすぎる/動きが速い/手ブレしている/撮影場所が暗すぎるまたは明るすぎる/被写体と背景の色が似ている/ズームを使用している
- タッチした被写体を認識できなかったときは、追尾AF枠が赤くなったあと消えます。もう一度操作してください。
- 追尾AFが働かないときは、オートフォーカスモードは[ ]で撮影されます。
- タッチシャッター機能(P26)を使っているときは、追尾AFは働きません。
- 以下の場合、[ ]に設定できません。
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[星空]、[花火]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、[ハイダイナミック]
  - ・カラーモードの[B/W]、[SEPIA]、[COOL]、[WARM]
- 追尾AFでピントが合う範囲は10 cm(W端時)/50 cm(T端時)〜∞です。

撮影メニューを使う（つづき）

マクロ撮影モード

設定方法について（P48）

露出補正

設定方法について（P51）

暗部補正（インテリジェント暗部補正）

被写体と背景との明暗差が大きい場合などに、コントラストや露出を自動的に補正します。

■使えるモード：
■設定：[ON]、[OFF]
- [ISO感度]が[ISO100]のときでも、[暗部補正]使用時は、[ISO感度]が[ISO100]より大きくなることがあります。
- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。

超解像

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影することができます。

■使えるモード：
■設定：[ON]、[iA ZOOM]（iAズーム※を使う）、**[OFF]**
※超解像技術によって、画質をほとんど劣化させずに、ズーム倍率を約1.3倍上げることができます。

お知らせ
- iAズームについては43ページをお読みください。
- インテリジェントオートモードまたはコスメティックモード時は[iA ZOOM]に固定されます。

撮影メニューの設定方法はP35へ

デジタルズーム

光学ズーム、EX光学ズーム、またはiAズームよりも、さらに拡大することができます。

■使えるモード: [カメラ] [クリエイティブ] SCN MS
■設定: [ON]、[OFF]

お知らせ

- 詳しくは、43ページをお読みください。
- ズームマクロ撮影時は[ON]に固定されます。
- 動画撮影モードでは設定できません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。

連写

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。撮影後お気に入りの画像を選んでください。

■使えるモード: iA [カメラ] [クリエイティブ] SCN MS
■設定: [ON]、[OFF]

連写速度	約1.4コマ/秒
連写枚数	内蔵メモリー/カードの空き容量による

お知らせ

- 撮影終了後、アクセス表示の点滅が消えるまでは、電源を切ったりカードを抜かないでください。
- **途中から連写速度が遅くなります。** 遅くなるタイミングは、カードの種類、記録画素数によって変化します。
- ピントは1枚目で固定されます。
- 露出、ホワイトバランスは1枚ごとに調整されます。
- セルフタイマー使用時の連写枚数は、3枚に固定されます。
- 暗いところやISO感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度(コマ/秒)が遅くなる場合があります。
- 連写設定は、電源を切っても記憶しています。
- 内蔵メモリーで連写を行った場合は、書き込みに時間がかかります。
- **連写を設定すると、フラッシュは[[発光禁止]]になります。**
- 以下の場合、連写の使用はできません。
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[星空]、[花火]、[ピンホール]、[フォトフレーム]
  - ・動画撮影時

撮影メニューを使う（つづき）

カラーモード

画像をくっきりしたり、柔らかくする、またはセピア色にするなど、色の効果を設定します。

■**使えるモード：** [iA] [カメラ] [動画]
■**設定：[STD.]**（標準）、**[Happy]**※（明るく）、**[NAT]**（柔らかく）、**[VIVID]**（くっきり）、**[B/W]**（白黒）、**[SEPIA]**（セピア）、**[COOL]**（青っぽく）、**[WARM]**（赤っぽく）
※[Happy]はインテリジェントオートモード時のみ設定できます。
- インテリジェントオートモード時は[STD.]、[Happy]、[B/W]、[SEPIA]のみ設定できます。
- 暗い場所でノイズが目立つときは[NAT]に設定してください。

AF補助光

撮影場所が暗くピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合わせやすくすることができます。

■**使えるモード：** [カメラ] [マイカラー] SCN MS
■**設定：**
[ON]：暗い場所での撮影時、シャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。（大きなAFエリアが表示されます）
[OFF]：点灯しません。

お知らせ
- 補助光の有効距離は1.5 mです。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- シーンモードの[自分撮り]、[風景]、[夜景]、[夕焼け]、[花火]、[空撮]では、AF補助光は[OFF]に固定されます。
- 動画撮影モードでは設定できません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。

AF補助光ランプ

デジタル赤目補正

赤目軽減（[⚡A👁]、[⚡👁]、[⚡S👁]）選択時にフラッシュが発光すると、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

■**使えるモード：** [カメラ] [マイカラー] SCN MS
■**設定：[ON]、[OFF]**

お知らせ
- [ON]に設定すると、フラッシュのアイコンに[✎]が表示されます。
- 詳しくは、46ページをお読みください。

手ブレ補正

手ブレを感知して、自動的に補正します。

■**使えるモード**： 📷 🎨 SCN MS
■**設定**：[ON]、[OFF]

お知らせ
- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  - ・手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
  - ・デジタルズーム領域
  - ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - ・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき
    シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
- シーンモードの[星空]では[OFF]に固定されます。
- インテリジェントオートモード、動画撮影時、またはシーンモードの[自分撮り]では[ON]に固定されます。

日付焼き込み

撮影時に、写真に撮影日を焼き込みます。

■**使えるモード**： 📷 🎨 SCN MS
■**設定**：[DATE]（撮影日）、[TIME]（撮影日と撮影時間）、[OFF]

お知らせ
- 写真に直接日付が焼き込まれますので、お店やプリンターでプリントするときに改めて日付プリントを指定する必要はありません。（日付が重なってプリントされます）
- [連写]、シーンモードの[パノラマアシスト]、[高速連写]、[フラッシュ連写]で撮影する場合は、日付は焼き込まれません。
- 撮影後の写真にあとから撮影日などを焼き込むこともできます。（P82）
- インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。

時計設定

- セットアップメニューの[時計設定]（P38）と同じ機能です。

文字を入力する

撮影時に、赤ちゃんやペットの名前、旅行先などを入力しておくことができます。（ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます）
指で操作しにくい場合は、タッチペン（付属）をお使いください。

1 入力画面を表示する

- 入力画面は以下の操作から表示できます。
  - ・シーンモードの［赤ちゃん1］/［赤ちゃん2］、［ペット］の［名前］（P57）
  - ・［トラベル日付］の［旅行先］（P63）

2 文字を入力する

- 例えば「け」を入力するには、［か］を4回タッチしてください。
- ［切換］をタッチすると、［かな］（ひらがな）、［カナ］（カタカナ）、［A］/［a］（アルファベット）、［1］（数字）、［&］（記号）に文字を切り換えることができます。
- 入力位置のカーソルは、［ ◀ ］をタッチすると左に、［ ▶ ］をタッチすると右に移動できます。
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、［ ▶ ］をタッチしてカーソルを移動してください。
- 空白を入れたいときは［ ␣ ］、入力した文字を消去したいときは［消去］をタッチしてください。
- 文字入力の途中で編集を中止したい場合、［ ↩ ］をタッチしてください。
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  - ・［かな］/［カナ］:　　最大15文字
  - ・［A］/［a］/［1］/［&］※:　最大30文字

  ※［＼］、［「］、［」］、［･］、［—］は最大15文字

3 ［決定］をタッチして終了する

お知らせ

- 入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。

画像を順番に再生する（スライドショー）

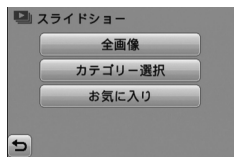
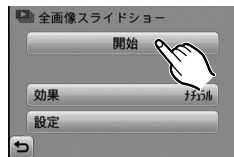
再生モード: ▶

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、写真のみや、動画のみ、カテゴリーで分類した画像のみ、お気に入りに設定した画像のみをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。

1 再生状態で [◀ ▶] をタッチする

2 [ ] をタッチする

3 項目をタッチする

- [カテゴリー選択] 時は、再生したいカテゴリーをタッチしてください。カテゴリーの詳細については78ページをお読みください。

4 [開始] をタッチする

■ 終了するには

[■] をタッチする。
通常再生に戻ります。

■ スライドショー中の操作

画面をタッチして操作アイコンを表示する。

- 約2秒間何も操作しないと操作アイコンは消えます。

[▶/❚❚]: 再生／一時停止
[■]: 終了
[▶▶|]: （一時停止中）次の画像へ
[|◀◀]: （一時停止中）前の画像へ
[+] [−]: 音量調整

- ズームレバーでも音量の調整ができます。

画像を順番に再生する（スライドショー）（つづき）

再生モード: ▶

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で［効果］または［設定］を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

全画像スライドショー
開始
効果 ナチュラル
設定

［効果］
画像切り換え時の画面効果、音楽効果を選ぶことができます。
［ナチュラル］、［スロー］、［スウィング］、［アーバン］、［OFF］、［おまかせ］

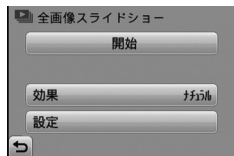
- ［アーバン］を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- ［おまかせ］は、［カテゴリー選択］選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにおすすめの効果で再生します。
- 縦向きに表示された画像を再生するときは、一部の［効果］は動作しません。

［設定］
再生間隔やリピートを設定できます。

項目	設定
［再生間隔］	1秒、2秒、3秒、5秒
［リピート］	ON、OFF
［音楽］	[ON]:　音楽を再生します。 [OFF]: 音を出しません。

- ［再生間隔］は、［効果］を［OFF］に設定しているときのみ設定できます。

お知らせ

- 音楽を追加することはできません。
- スライドショーでは動画再生できません。カテゴリーの［動画］を選択すると、各動画の最初の映像がスライドショーされます。

画像を選んで再生する

再生モード: [▶]

カレンダー検索

撮影日から画像を探すことができます。

1 再生状態で [◀ ▶] をタッチする

2 [🔍] をタッチする

- ズームレバーを数回[▦](W)側に動かしても､カレンダー検索表示画面にできます。

3 [▲]/[▼] をタッチして再生したい月を選ぶ

- 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。
- [▦]をタッチするとマルチ再生画面が表示されます。(P28)

4 再生したい日付を選び、[決定] をタッチする

5 再生したい画像を選ぶ

- スライドバーに[▲]/[▼]が表示されている場合は､タッチして画面を切り換えてください。
- [CAL]をタッチすると､カレンダー検索表示画面に戻ります。

お知らせ

- はじめに選ばれる日付は､再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は､その日の最初に撮影された画像が表示されます。
- カレンダーの表示できる範囲は､2000年1月から2099年12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合､2011年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

画像を選んで再生する（つづき）

再生モード: [▶]

カテゴリー選択（絞り込み再生）

シーンモードなどのカテゴリー（人物・風景・夜景など）を検索し、各カテゴリーごとに画像を分類します。各カテゴリーごとに再生することができます。

1 再生状態で [◀ ▶] をタッチする

2 [ ] をタッチし、[ ] をタッチする

3 再生したいカテゴリーをタッチする

- 選択したカテゴリーに画像がないときは、メッセージが表示され、再生できません。
- 分類されるカテゴリーは以下のとおりです。

カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
	人物、i人物、変身、自分撮り、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん、コスメティックモード
	風景、i風景、夕焼け、i夕焼け、空撮
	夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、星空
	スポーツ、パーティー、キャンドル、花火、ビーチ、雪、空撮

カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
	赤ちゃん
	ペット
	料理
	トラベル日付
	動画

お知らせ

- 選択したカテゴリーにより使える再生メニューは異なります。

お気に入り（絞り込み再生）

[お気に入り] 設定(P86)した画像を再生することができます。(設定済みの画像があるときのみ)

1 再生状態で [◀ ▶] をタッチする

2 [ ] をタッチし、[★] をタッチする

人物写真を魅力的に仕上げる（ビューティレタッチ）

再生モード: ▶

人物の顔にメイクアップのような効果を加えたり、肌の質感を整えるなど、写真を撮ったあとでも人物をおしゃれに変身させることができます。変身後の写真が新しく作成されますので、内蔵メモリーまたはカードの容量に余裕があるか、あらかじめ確認してください。

1 再生状態で [ ] をタッチする

2 画面をドラッグして変身前の写真を選び、[OK] をタッチする

- できるだけ人物の顔が正面から写っている傾きの少ない写真を選んでください。
- 写真を選ぶ方法は28ページをお読みください。

3 変身させたい人物の顔をタッチする

- カメラが自動的に顔を認識し、編集可能な顔にはマーク（Ⓐ）が表示されます。

4 [ ]（美容）または [ ]（お化粧）をタッチする

5 項目と効果の強さをそれぞれタッチして選ぶ

- 変身後の写真が表示されます。
- 手順**4**、**5**を繰り返し、効果を加えていくことができます。
- 取り消したいときはその項目を選び、効果を [OFF] にしてください。

応用・再生

人物写真を魅力的に仕上げる（ビューティレタッチ）（つづき）

再生モード：▶

6 [OK] をタッチする

- 変身前後の写真が並んで表示されます。

7 [OK] をタッチする

- 手順**3**の画面に戻ります。
- 続けて他の人物も変身させたいときは他の顔をタッチし、手順**3**から行います。

8 [保存] をタッチする

9 [はい] をタッチする

お知らせ

- カメラが人物の顔を検知できない場合は、手順**3**のあとメッセージが表示されます。他の人物を選ぶか、他の写真を選んでください。
- 動画にはビューティレタッチは使えません。
- 他人の利益を損なうような利用、ひぼう中傷目的での利用はしないでください。
- 顔の検知がうまくできていない場合、意図どおりのレタッチができないことがあります。
- ビューティレタッチに適した写真を撮るには：
  - ・顔を正面から撮影する。
  - ・極端に暗い場所での撮影を避ける。
  - ・レタッチをかけたい部分をはっきりと撮影する。

再生メニューを使う

再生モード: ▶

画像共有サイトにアップロードする画像を設定したり、画像を切り抜くなどの編集やプロテクトなどの設定ができます。

- [文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]または[トリミング(切抜き)]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをおすすめします。

WEBアップロード設定

インターネットの画像共有サイトにアップロードする画像を、本機で設定しておくことができます。

- 以下のサイトに写真や動画をアップロードできます。
  ・LUMIX CLUB PicMate (ピクメイト)(写真)、Facebook(写真)、YouTube(動画)
- 内蔵メモリーの画像には設定できません。まずカードにコピー(P89)してください。
- [WEBアップロード設定]をすると、本機内蔵のアップロードツールが、カードに書き込まれます。

1 再生メニューから[WEBアップロード設定]を選ぶ(P35)

2 [S(1枚設定)]または[M(複数設定)]をタッチする

3 画像を選ぶ

[1枚設定]選択時

1 画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする

- [解除]をタッチすると設定が解除されます。

[1枚設定]

[複数設定]選択時

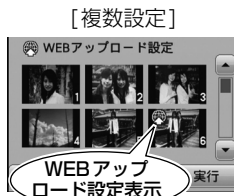
1 アップロードしたい画像をタッチする。

- もう一度同じ画像をタッチすると設定が解除されます。

2 [実行]をタッチする

3 [はい]をタッチする

- 設定後はメニューを終了してください。

[複数設定]

■ 画像共有サイトに画像をアップロードする

本機とパソコンを接続して、アップロードの操作を行ってください。詳しくは、93ページをお読みください。

■ [WEBアップロード設定]を全解除する

再生メニューから[WEBアップロード設定] → [CANCEL(全解除)] → [はい]を選ぶ

応用・再生

再生メニューを使う（つづき）

再生モード: ▶

お知らせ

- 512 MB未満のカードでは設定できません。
- 他機で撮影された画像には設定できない場合があります。

文字焼き込み

撮影した画像に、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

1 再生メニューから［文字焼き込み］を選ぶ（P35）

2 ［S（1枚設定）］または［M（複数設定）］をタッチする

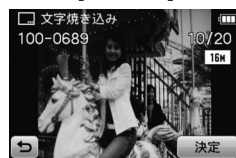
3 文字を焼き込みたい画像を選ぶ

［1枚設定］

［1枚設定］選択時

1　画面を水平にドラッグして画像を選ぶ

2　［決定］をタッチする

- 画像を選ぶ方法は28ページをお読みください。

［複数設定］

［複数設定］選択時

1　画像をタッチして選ぶ（繰り返す）

- 画像を選ぶ方法は28ページをお読みください。
- もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。

2　［実行］をタッチする

4 ［設定］をタッチする

5 焼き込む項目を選ぶ

項目	設定内容
[撮影日時]	[日付]:年月日を焼き込みます。 [日時]:年月日時分を焼き込みます。 [OFF]
[名前]	[/](赤ちゃん/ペット):シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定で登録された名前を焼き込みます。 [OFF]
[旅行先]	[ON]:[旅行先]で設定された旅行先名を焼き込みます。 [OFF]
[トラベル日付]	[ON]:[トラベル日付]で設定されたトラベル日付を焼き込みます。 [OFF]

6 [ ]をタッチする

7 [実行]をタッチする

- [/]選択時、[月齢/年齢]も焼き込む場合は[はい]をタッチして手順**8**へ進んでください。

8 [はい]をタッチする

- 保存後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 文字焼き込みされた画像に、さらにお店やプリンターで日付プリントを指定すると、文字などが重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- 小さいサイズの画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
- 以下の場合、文字焼き込みができません。
  - ・動画
  - ・時計を設定せずに撮影された画像
  - ・文字焼き込みされた画像
  - ・日付焼き込みされた写真
  - ・他機で撮影された画像

再生メニューを使う（つづき）

再生モード: ▶

リサイズ(縮小)　画像サイズ(画素数)を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。

1 再生メニューから [リサイズ(縮小)] を選ぶ(P35)

(P35)

2 [S(1枚設定)] または [M(複数設定)] をタッチする

3 画像、サイズを選ぶ

[1枚設定] 選択時

1 画面を水平にドラッグして画像を選び、[決定] をタッチする

- 画像を選ぶ方法は28ページをお読みください。

2 変更したいサイズをタッチし、[決定] をタッチする

[1枚設定]

[複数設定] 選択時

1 変更したいサイズをタッチする

2 画像をタッチして選ぶ(繰り返す)

- 画像を選ぶ方法は28ページをお読みください。
- もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。

3 [実行] をタッチする

[複数設定]

4 [はい] をタッチする

- 保存後はメニューを終了してください。

お知らせ

- [複数設定] で一度に設定できるのは50枚までです。
- リサイズを行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はリサイズできない場合があります。
- 動画、文字または日付焼き込みされた画像はリサイズできません。

✂ トリミング(切抜き)　画像を切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 再生メニューから[トリミング(切抜き)]を選ぶ(P35)

2 画面を水平にドラッグして画像を選び、[決定]をタッチする

- 画像を選ぶ方法は28ページをお読みください。

3 切り抜く部分を選ぶ

[⊕]をタッチ:	拡大
[⊖]をタッチ:	縮小
ドラッグ(P9):	移動

- ズームレバーでも拡大または縮小をすることができます。

4 [決定]をタッチする

5 [はい]をタッチする

- 保存後はメニューを終了してください。

お知らせ

- トリミングを行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミングできない場合があります。
- 動画、文字または日付焼き込みされた画像はトリミングできません。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード: ▶

★ お気に入り

お気に入りに設定した画像だけを再生、プリントしたり、お気に入りだけを残して他の画像を消去したりできます。

1 再生メニューから［お気に入り］を選ぶ(P35)

2 ［S(1枚設定)］または［M(複数設定)］をタッチする

3 設定したい画像を選ぶ

- お気に入り設定済みの画像には［★］が表示されます。
- 画像を選ぶ方法は28ページをお読みください。

［1枚設定］選択時

画面を水平にドラッグして画像を選び、［設定］をタッチする(繰り返す)

- ［解除］をタッチすると、お気に入りが解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

［1枚設定］

［複数設定］選択時

お気に入り設定したい画像をタッチする(繰り返す)

- 同じ画像をもう一度タッチすると、お気に入りが解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

［複数設定］

■［お気に入り］設定を全解除する

再生メニューから［お気に入り］→［CANCEL(全解除)］→［はい］を選ぶ

お知らせ

- 999枚まで設定できます。
- 他機で撮影された画像では、［お気に入り］設定ができない場合があります。

プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、カードにコピー（P89）してから[プリント設定]の設定をしてください。

1 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ(P35)

2 [S(1枚設定)]または[M(複数設定)]をタッチする

3 画像を選ぶ

[1枚設定]選択時
画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする
- 画像を選ぶ方法は28ページをお読みください。

[複数設定]選択時
プリント設定したい画像をタッチする

[1枚設定]

[複数設定]

- 画像を選ぶ方法は28ページをお読みください。

4 [▲]/[▼]をタッチしてプリント枚数を設定し、[決定]をタッチする

- [複数設定]選択時は、手順**3**、**4**を繰り返してください。(一括設定することはできません)
- 設定後はメニューを終了してください。

■ [プリント設定]を全解除する

再生メニューから[プリント設定] → [CANCEL(全解除)] → [はい]を選ぶ

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[日付]をタッチするごとに日付プリントを設定/解除できます。
- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 文字または日付焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

お知らせ

- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
- PictBridge対応のプリンターでは、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合があります。
- 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- 動画はプリント設定できません。
- DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード: ▶

プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

1 再生メニューから［プロテクト］を選ぶ(P35)

2 ［S(1枚設定)］または［M(複数設定)］をタッチする

3 画像を選ぶ

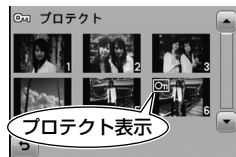
［1枚設定］選択時
画面を水平にドラッグして画像を選び、［設定］をタッチする

- 画像を選ぶ方法は28ページをお読みください。
- ［解除］をタッチすると設定が解除されます。

［1枚設定］

［複数設定］選択時
プロテクトしたい画像をタッチする。

- 画像を選ぶ方法は28ページをお読みください。
- もう一度同じ画像をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

［複数設定］

■［プロテクト］設定を全解除する

再生メニューから［プロテクト］→［CANCEL(全解除)］→［はい］を選ぶ

お知らせ

- ［プロテクト］設定は本機以外では無効になる場合がありますので､お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても､フォーマットした場合は消去されます。
- 画像をプロテクトしなくても､カードの書き込み禁止スイッチを｢LOCK｣側にしておくと､消去はされません。

IN→SD 画像コピー　内蔵メモリーの画像をコピーする

撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、カードから内蔵メモリーにコピーすることができます。

1 再生メニューから[画像コピー]を選ぶ(P35)

2 画像データのコピー方向をタッチする

IN→SD :内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。→ 手順**4**へ
SD→IN :カードから内蔵メモリーへ1枚ずつコピーされます。→ 手順**3**へ

3 画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする

- 画像を選ぶ方法は28ページをお読みください。

4 [はい]をタッチする

- コピー中は電源を切らないでください。
- コピー後はメニューを終了してください。

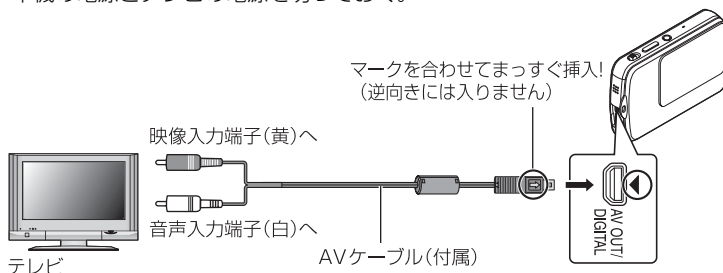
お知らせ

- [IN→SD]時、コピーする画像と同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)の画像がコピー先にある場合、新しいフォルダーを作成してコピーします。
- [SD→IN]時は、同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。
- コピーに時間がかかる場合があります。
- 当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影した画像のみコピーされます。(当社製デジタルカメラで撮影した画像でも、パソコンなどで編集された画像はコピーできない場合があります)
- [プリント設定]、[プロテクト]設定または[お気に入り]設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。

テレビで見る

再生モード: [▶]

AV ケーブル(付属)を使って見る

準備: [映像出力](P40)を設定する。
　　本機の電源とテレビの電源を切っておく。

1 AVケーブルで本機とテレビを接続する

2 テレビの電源を入れ、外部入力にする

3 本機の電源を入れ、[▶]をタッチする

お知らせ

- 画像横縦比によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 付属のAVケーブル以外は使わないでください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。

SDカードスロット付きテレビで見る

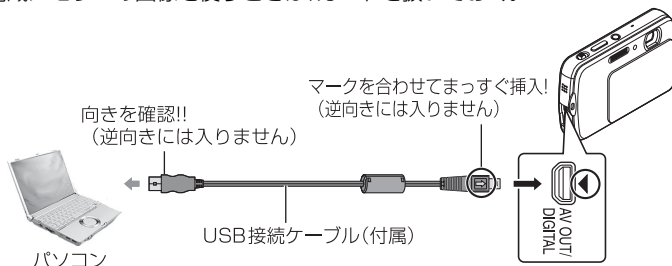
SDカードスロットにカードを入れて、撮影した写真を再生することができます。

お知らせ

- テレビによっては、写真がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 動画を再生するときはAVケーブルで本機とテレビを接続してください。
- SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードをお使いの場合は、それぞれの対応機器でなければ再生できません。

パソコンと接続する

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。
- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。
- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと便利です。
- CD-ROM(付属)のソフトウェアや動作環境、インストールなど詳しくは、**別冊の「パソコン接続ガイド」**をお読みください。

準備:本機とパソコンの電源を入れる。
　　内蔵メモリーの画像を使うときは、カードを抜いておく。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)およびDCカプラー(別売:DMW-DCC10)を使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。「安全にUSB接続ケーブルを取り外す」(P92)をお読みのうえ、USB接続ケーブルを抜いてください。

1 USB接続ケーブルで本機とパソコンを接続する

- **付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。**

2 [PC]をタッチする

- [USBモード]を[PictBridge(PTP)]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。[キャンセル](中止)を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。[USBモード]を[PC]に設定し直してください。

パソコンと接続する（つづき）

3 「マイコンピュータ」にある「リムーバブルディスク」をダブルクリックする

- Macintoshの場合は、デスクトップ上にドライブが表示されます。(「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」と表示されます)

4 「DCIM」フォルダーをダブルクリックする

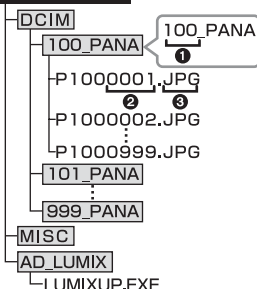
5 取り込みたい画像の入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップする

■ 安全にUSB接続ケーブルを取り外す

- パソコンでタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラの液晶モニターに[通信中]が表示されていないことを確認してから取り外してください。

お知らせ

- ACアダプター(別売)を使用する場合は、本機の電源を切ってから抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊される恐れがあります。

■ 内蔵メモリー/カードの中をパソコンで見る(フォルダー構造)

❶ フォルダー番号
❷ ファイル番号
❸ JPG: 画像
MOV: 動画
MISC: DPOFプリント
お気に入り
AD_LUMIX: WEBアップロード用
LUMIXUP.EXE: アップロードツール
(LUMIX WEBアップローダー)

以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。
- 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合
(他社のカメラで撮影した場合など)
- フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合

■ PTPモードで接続する
(Windows® XP/Windows Vista® /Windows® 7/Mac OS Xのみ)

[USBモード]を[PictBridge(PTP)]にしてください。
- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。

画像共有サイトにアップロードする

アップロードツール(LUMIX WEBアップローダー)を使って、写真や動画を画像共有サイト(LUMIX CLUB PicMate(ピクメイト)、Facebook、YouTube)にアップロードできます。
パソコンに画像を取り込んだりソフトウェアをインストールする必要がなく、インターネットに接続できるパソコンさえあればアップロードできるので、旅行中に撮った画像をすぐに公開したいときなどに便利です。
- あらかじめ[WEBアップロード設定](P81)で、アップロードする画像を設定しておいてください。

使用できるパソコン: Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7
準備: • 本機とパソコンを接続する (P91)。または本機からカードを取り出し、パソコンに入れる。
• 利用する画像共有サイトのアカウントを作成し、ログイン情報を確認しておく。

1 「LUMIXUP.EXE」をダブルクリックして起動する(P92)

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」がインストールされている場合、アップロードツール(LUMIX WEBアップローダー)が自動的に起動することがあります。
- LUMIX WEBアップローダーの取扱説明書は、Internet Explorerでご覧ください。

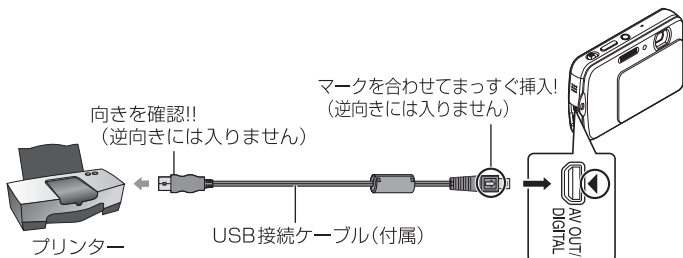
2 アップロード先を選び、必要な情報を入力する

- ログイン画面には各画像共有サイトのユーザー名、パスワードなどを入力してください。
- 必要に応じてコメントやキーワードなどを入力し、「実行」をクリックすると、本機の[WEBアップロード設定]で設定した画像が、画像共有サイトにアップロードされます。

お知らせ
- LUMIX CLUB PicMate について
  - ・デジタルカメラで撮影した写真を共有・公開して楽しむ、SNS型写真共有サイトです。詳しくは、PicMate のサイトをご覧ください。
    http://picmate-club.panasonic.jp/
- YouTubeおよびFacebookのサービスおよび仕様変更に対して、将来にわたって動作保証をするものではありません。利用できるサービス内容や画面は予告なく変更になることがあります。(本サービスは、2010年12月1日現在のものです)
- 著作権により保護されている画像は、ご自身が権利を有しているか、関係する権利者から許可を得ている場合を除いてアップロードしないでください。

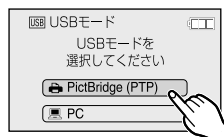
プリントする

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機の液晶モニター上でプリントする写真を選択したり、プリント開始を指示することができます。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備：本機とプリンターの電源を入れる。
内蔵メモリーの写真をプリントするときは、カードを抜いておく。
あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC5）およびDCカプラー（別売：DMW-DCC10）を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。

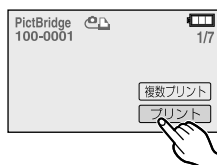
1 USB接続ケーブルで本機とプリンターを接続する

2 [PictBridge(PTP)] をタッチする

- プリンターと接続するとケーブル切断禁止アイコン[ ]が表示されます。[ ]表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。

お知らせ

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- 本機の電源を切ってからACアダプターを抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- 動画はプリントできません。

3 画面を水平にドラッグして画像を選び、[プリント]をタッチする

- 画像を選ぶ方法は28ページをお読みください。

4 [プリント開始]をタッチする

- プリント開始前に設定できる項目については96ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

複数まとめてプリントするとき

① 手順3の画面で[複数プリント]をタッチする
② 設定したい項目をタッチする

項目	設定内容
複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● スライドバーに[▲]/[▼] が表示されている場合は、タッチして画面を切り換えてください。 ● プリントしたい画像を選ぶと[🖶]が表示されます。(もう一度同じ画像をタッチすると設定が解除されます) ● 選択が終了したら[実行]をタッチしてください。
全画像	● 保存されているすべての画像をプリントします。
プリント設定(DPOF)	● [プリント設定]で設定(P87)された画像のみをプリントします。
お気に入り	● [お気に入り]設定(P86)された画像のみをプリントします。

③ プリントする(上記手順4)

他の機器との接続

プリントする（つづき）

プリントの各種設定

[プリント開始]をタッチする前に設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、[🖨]（プリンター優先）を選び、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）
- [プリント設定（DPOF）]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

日付プリント

項目	設定内容
ON	日付プリントされます。
OFF	日付プリントされません。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- 日付プリントの設定は、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。
- 文字または日付焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを[OFF]にしてください。

プリント枚数

- プリントする枚数（最大999枚まで）を設定できます。

用紙サイズ

項目	設定内容
🖨	プリンターの設定を優先
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
16:9	101.6 mm×180.6 mm
A4	210 mm×297 mm

項目	設定内容
A3	297 mm×420 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm
カード	54 mm×85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)

項目	設定内容
(プリンターアイコン)	プリンターの設定を優先
(1面ふちなしアイコン)	1面ふちなし印刷
(1面ふちありアイコン)	1面ふちあり印刷

項目	設定内容
(2面アイコン)	2面印刷
(4面アイコン)	4面印刷

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ レイアウト印刷について

1枚の用紙に同じ写真を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に同じ写真を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[ ]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

1枚の用紙に異なる写真を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に異なる写真を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[ ]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

お知らせ

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。

写真に日付を入れるには

写真に日付を焼き込む

[日付焼き込み]/[文字焼き込み]を使って、写真に日付を焼き込むことができます。

- **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

日付プリントを設定する

[プリント設定]のプリント枚数設定時に[日付]をタッチするごとに日付プリントを設定/解除できます。(P87)

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。(シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って日付プリントすることができます。

※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

別売品のご紹介

品名：バッテリーパック
品番：DMW-BCK7
- 付属のチャージャー（DE-A91A）でも充電できます。

品名：DCカプラー※
品番：DMW-DCC10

品名：ACアダプター※
品番：DMW-AC5

※ **DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。**
単独では使用できません。

品名：ソフトケース
品番：DMW-CP9
DMW-CFP8
DMW-CFT1

品名：本革ケース
品番：DMW-CX700

品名：ショルダーストラップ
品番：DMW-SSTX1

品名：バッテリーチャージャー
品番：DMW-BTC8

品名：SDメモリーカード
SDHCメモリーカード
SDXCメモリーカード

品名：三脚アダプター
品番：DMW-TA1

記載の品番は2011年1月現在のものです。
変更されることがあります。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。

http://p-mp.jp/cpm

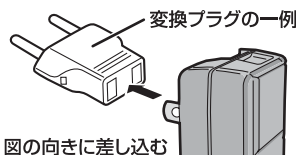
海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧(100 V～240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

■ 変換プラグの付けかた

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C,SE	オランダ	C,SE	ギリシャ	A,B, B3,C, SE	スイス	A,B, C,SE
スウェーデン	B,C, SE	スペイン	A,C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A,C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B,C	フランス	A,C, SE	ベルギー	B,C, SE	ロシア	A,C, SE				
アジア											
インド	B,BF, B3,C	インドネシア	B,B3, C,SE	シンガポール	B,BF, B3	タイ	A,BF, C	大韓民国	A,C, SE	台湾	A,C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF, C, SE	香港特別行政区	B,BF, B3,C	マカオ特別行政区	B,BF, B3,C	マレーシア	B,BF, B3,C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B, C,O
中南米											
アルゼンチン	BF,C, SE	プエルトリコ	A,BF, C	ブラジル	A,C, SE	メキシコ	A,C, SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF, B3	エジプト	BF,B3, C,SE	クウェート	B,B3, C	トルコ	A,B, C,SE	南アフリカ共和国	B,BF, B3,C	モロッコ	A,C, SE

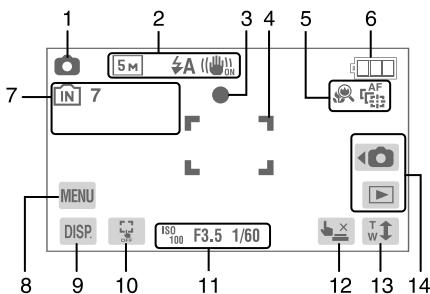
タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

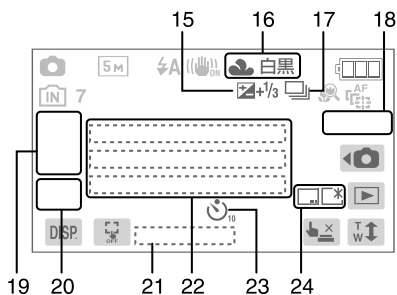
■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

液晶モニターの表示

液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

■ 撮影時

■ 撮影時

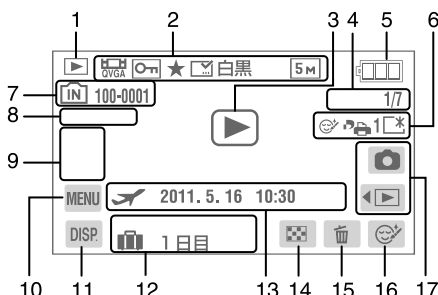
1 撮影モード
2 記録画素数(P65)
画質設定(P30)
フラッシュモード(P45)
手ブレ補正(P73)
手ブレ警告(P25):
3 フォーカス(P25)
4 AFエリア(P25)
5 AFマクロ撮影(P48)
ズームマクロ撮影(P49)
オートフォーカスモード(P68)
6 バッテリー残量(P11)
7 内蔵メモリー(P15)
アクセス表示(P15): 、
記録可能枚数(P16)
(残り枚数が100000枚以上の場合は、[+99999]と表示されます)
記録可能時間(P30):残XXhXXmXXs
記録動作: ●
8 MENU(P35)
9 DISP.(表示)(P42)
10 タッチAF/AE解除(P27)
11 ISO感度(P66)
絞り値(P25)
シャッタースピード(P25)
12 タッチシャッター(P26)
13 タッチズーム(P44)
14 撮影/再生モード切換(P19)

15 露出補正(P51)
16 ホワイトバランス(P67)
カラーモード(P72)
17 連写(P71)
18 暗部補正(P70): i◐
AF補助光(P72): AF☀
19 ショートカットエリア(P37)
20 記録経過時間(P30):XXhXXmXXs※1
21 ズーム/EX光学ズーム(P43)/
iAズーム(P43)/
デジタルズーム(P43、71)

EZ iA ZOOM W T 1X

22 現在日時/旅行先設定(P64)※2:
月齢/年齢※3(P57)
名前※3(P57)
旅行先※2(P62)
トラベル経過日数※2(P62)
トラベル日付※2(P62)
23 セルフタイマーモード(P50)
24 日付焼き込み(P73)
液晶モード(P39)

※1 hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。
※2 電源を入れたとき/時計設定後/再生モードから撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。
※3 シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]や[ペット]で電源を入れた場合に約5秒間表示されます。

液晶モニターの表示（つづき）

■ 再生時

■ 再生時

1 再生モード(P29)
2 画質設定(P30)
プロテクト(P88)
お気に入り表示(P86)
文字焼き込み済み表示(P82)
カラーモード(P72)
記録画素数(P65)
ケーブル切断禁止アイコン(P94):
3 再生(動画)(P32)
4 画像番号/トータル枚数
再生経過時間(P32):XXhXXmXXs※
5 バッテリー残量(P11)
6 ビューティレタッチ済み表示(P79)
プリント枚数(P87)
液晶モード(P39)
7 内蔵メモリー(P15)
フォルダー・ファイル番号(P92)
8 動画記録時間(P32):XXhXXmXXs※
9 ショートカットエリア(P37)
10 MENU(P35)
11 DISP.(表示)(P42)
12 トラベル経過日数(P62)
月齢/年齢(P57)
撮影情報
13 撮影日時/ワールドタイム(P64)
名前(P57)
旅行先(P62)
撮影情報
14 マルチ再生(P28)
15 消去(P33)
16 ビューティレタッチ(P79)
17 撮影/再生モード切換(P19)

※hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。

メッセージ表示

確認/エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから（P88）消去をしてください。
消去できない画像があります/この画像は消去できません	DCF規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P41）してください。
この画像には設定できません	DCF規格に準拠していない画像は[文字焼き込み]、[プリント設定]ができません。
内蔵メモリー残量が不足しています/メモリーカード残量が不足しています	内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。 内蔵メモリーからカードへコピーしている場合（一括コピー）、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。
コピーできない画像がありました/画像をコピーすることができませんでした	以下の画像はコピーできません。 ● コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合（カードから内蔵メモリーへのコピー時のみ） ● DCF規格に準拠していないファイル また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーできない場合があります。
内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか？	パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。本機でフォーマット（P41）し直してください。データは消去されます。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか？	本機では使用できないフォーマットです。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P41）し直してください。
電源を入れ直してください/システムエラー	レンズが正常に動作しませんでした。電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です/このカードは使用できません	本機に対応したカードをお使いください。（P15） ● SDメモリーカード（8 MB～2 GB） ● SDHCメモリーカード（4 GB～32 GB） ● SDXCメモリーカード（48 GB、64 GB）

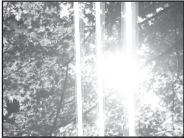
メッセージ表示（つづき）

メッセージ	実行していただきたいこと
カードを入れ直してください/別のカードでお試しください	●カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 ●miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。 ●別のカードを入れてお試しください。
リードエラー/ライトエラーカードを確認してください	●データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源を切ってからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源を入れて記録または読み込みしてください。 ●カードが破壊されている可能性があります。 ●別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	●動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。 ●「Class6」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P41)することをおすすめします。 カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
このカードは本機でフォーマットされておらず動画記録に適しません	パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合、書き込み速度が低下しているため、途中で動画撮影が終了する場合があります。そのときはバックアップをとり、本機でフォーマット(P41)してください。
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。(P92) パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P41)してください。
16:9TV用で出力します/4:3TV用で出力します	●本機にAVケーブルが接続されました。 [TV画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P40) ●USB接続ケーブルが本機のみに接続されました。 USB接続ケーブルのもう一方を機器に接続すると、このメッセージは消えます。(P91、94)

Q & A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法（P105～110）をお試しください。

それでも解決できない場合は、**撮影モードでセットアップメニューの［設定リセット］（P40）を行うと症状が改善する場合があります。**

■ バッテリー、電源について

Q（質問）	A（回答）
電源を入れても動作しない。	● バッテリーが消耗しています。
使用中に電源が切れる。	● バッテリーが消耗している。 ● ［自動電源OFF］が働いている。（P39） →電源ボタンを押して電源を入れ直してください。
カード/バッテリー扉が閉まらない。	→バッテリーを確実に奥まで挿入してください。（P13）

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
撮影できない。	● 再生状態になっていませんか？ →［ ］をタッチしてください。 ● レンズカバーが閉まっている。 →レンズカバーを下げてください。 ● 内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？ →不要な画像を消去して容量を増やしてください。（P33）
撮影した画像が白っぽい。	● レンズに指紋などの汚れが付いている。 →レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
撮影した画像の周囲が暗くなる。	● W端付近で至近距離のフラッシュ撮影した画像ではありませんか？ →少しズームしてから撮影してください。（P43） ● シーンモードの［ピンホール］で撮影した画像ではありませんか？
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	→露出が正しく補正されているか確認してください。（P51）
1回の撮影で、2～3枚の画像が撮れるときがある。	→シーンモードの［高速連写］（P58）、［フラッシュ連写］（P59）、または連写（P71）を［OFF］に設定してください。
ピントが合わない。	● 撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。 →被写体までの距離に応じたモードに設定してください。 ● ピントが合う範囲から外れています。 ● 手ブレや被写体ブレしています。（P25）
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	→暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、本機を両手でしっかり持って撮影してください。（P20） →遅いシャッタースピードで撮影するときは、セルフタイマー（P50）を使って撮影してください。

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ 撮影について（つづき）

Q（質問）	A（回答）
撮影した画像が粗い。ノイズが出る。	● ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？ （お買い上げ時は、ISO感度が[iISO]に設定されているため、屋内などの撮影ではノイズが出ます） →ISO感度を低くしてください。（P66） →[カラーモード]を[NAT]に設定してください。（P72） →明るい場所で撮影してください。 ● シーンモードの[高感度]または[高速連写]に設定していませんか？高感度処理のため画像が少し粗くなりますが、異常ではありません。
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	● 蛍光灯下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは蛍光灯の特性により発生するものであり、異常ではありません。
撮影時やシャッター半押し時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじが出たり、液晶モニターの一部または全体が赤っぽくなることがある。	● CCDの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。 動画撮影では記録されますが、写真には記録されません。 ● 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。
動画撮影が途中で止まる。	● 動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。 ● 使用するカードによっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 →「Class6」以上のカードを使用しても停止した場合やパソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとり本機でフォーマット（P41）することをおすすめします。
追尾AFが働かない。	● 被写体と背景の色が似ていると、追尾AFが働かないことがあります。被写体の特徴的な色の部分をタッチしてください。（P69）

■ 液晶モニターについて

Q(質問)	A(回答)
電源が入っているのに、ときどき消える。	● 撮影後、次の撮影ができるまで画面が消えます。(内蔵メモリー使用時は最大約6秒間)
液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	● この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。 ● ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	● 電源周波数が50 Hzの地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	● [液晶モード]が働いていませんか？(P39)
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	● これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	● 暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。

■ フラッシュについて

Q(質問)	A(回答)
フラッシュが発光しない。	● [⊛]に設定していませんか？ →フラッシュモードを変更してください。(P45) ● 連写(P71)を設定しているときは、フラッシュは使用できません。
フラッシュが複数回発光する。	● 赤目軽減(P45)にしている場合は、2回発光します。 ● シーンモードの[フラッシュ連写](P59)になっていませんか？

Q&A その他

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ 再生について

Q(質問)	A(回答)
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	● [回転表示](P40)を設定しています。
再生できない。 撮影した画像がない。	● 撮影状態になっていませんか？ →[▶]をタッチしてください。 ● 内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか？ →カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。 ● パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。 →パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをおすすめします。 ● [カテゴリー選択]または[お気に入り]になっていませんか？ →[通常再生]に設定してください。(P28)
フォルダー・ファイル番号が[ー]で表示されたり、画面が黒くなる。	● 規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？ ● 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？ →このような画像を消去するには、フォーマット(P41)してください。(他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください)
カレンダー検索で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	● 本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？(P17) ● パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー検索時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	● 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	● デジタル赤目補正([⚡A👁]、[⚡👁]、[⚡S👁])が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、その赤い部分が黒く補正される場合があります。 →フラッシュモードを[⚡A]、[⚡]、[🚫⚡]または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをおすすめします。(P72)
画面に「サムネイル表示」と表示される。	● 他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
動画に本機の動作音が録音される。	● 動画撮影中、本機が自動でレンズの絞りを調整するため、動作音が録音されることがありますが、異常ではありません。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	● 正しく接続されていますか？ →テレビの入力切換を外部入力にしてください。 →本機のビデオ出力方式を[NTSC]にしてください。(P40)
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	● テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。
テレビで動画の再生ができない。	● カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ →AVケーブル（付属）をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P90)
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	→本機の[TV画面タイプ]を確認してください。(P40)
パソコンに接続して画像を転送できない。	● 正しく接続されていますか？ ● パソコンが本機を正常に認識していますか？ →本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P91)
パソコンにカードが認識されない。（内蔵メモリーになっている）	→USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。
パソコンにカードが認識されない。（SDXCメモリーカードを使用している）	→お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。 **http://panasonic.jp/support/sd_w/** →接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。 →液晶モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってからUSB接続ケーブルを抜いてください。
LUMIX CLUB PicMate、YouTube、Facebookへのアップロードがうまくいかない。	→ログイン情報（ログインID/ユーザー名/メールアドレス/パスワード）が間違っていないか確認してください。 →パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。 →ウィルス対策ソフトやファイアウォールなどの常駐ソフトが、PicMate/YouTube/Facebookへのアクセスをブロックしていないか確認してください。 →PicMate(http://picmate-club.panasonic.jp/)やYouTube、またはFacebook のサイトもご確認ください。
プリンターに接続して、プリントができない。	● PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。 ● 本機の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。(P94)
プリントすると、画像の端が切れる。	→トリミング（切抜き）や「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング（切抜き）または「ふちなし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください） →お店によっては、横縦比を[16:9]に設定して撮影した画像を16：9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

Q ＆ A　故障かな？と思ったら（つづき）

その他

Q(質問)	A(回答)
本機を振ると「カタカタ」と音がする	● レンズが移動する音で、故障ではありません。
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	● 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(P72)が赤く点灯します。
AF補助光が点灯しない。	● 撮影メニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか？(P72) ● 明るい場所ではAF補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	● ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	● ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
時計が合っていない。	● 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P17)
ズームを使って撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	● ズームの倍率によってはレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、これらは異常ではありません。
ズームの動きが一瞬止まる。	● EX光学ズーム時またはiAズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
ズームが最大倍率にならない。	● ズームマクロ(P49)に設定していませんか？ズームマクロ撮影時は最大3倍までのデジタルズームになります。
ファイル番号が連続して記録されない。	● 特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。
ファイル番号がさかのぼって記録される。	● 電源を切らずにバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー・ファイル番号を記憶することができません。従って、再度電源を[ON]にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録される場合があります。
タッチしたものと違うものが選択される。	→タッチパネル調整(P41)を行ってください。
放置していたら、突然デモが表示される。	● これは本機の特長を紹介する自動デモです。

使用上のお願い

本機について

本機を落としたり、ぶつけたりしない
また、本機に強い圧力をかけない

- 強い衝撃が加わると、レンズや液晶モニター、外装ケースが壊れ、故障の原因になります。
- ストラップにぶら下げたアクセサリーなどで強い圧力がかかると、液晶モニターが壊れる原因となりますのでお気をつけください。
- 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやACアダプター(別売：DMW-AC5)、DCカプラー(別売：DMW-DCC10)を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

使用上のお願い（つづき）

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99％以上の高精度管理をしておりますが、0.01％以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運んでください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P99）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

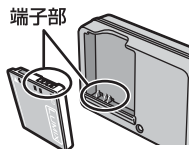
- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先:
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

チャージャーについて

- ラジオ(特にAM受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。(接続したままにしておくと、最大約0.1 Wの電力を消費しています)
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない
- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

使用上のお願い（つづき）

個人情報について

赤ちゃんモードで名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡／廃棄されるとき

- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P40)
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(P89)をし、その後内蔵メモリーをフォーマット(P41)してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡／廃棄する際は、113ページの「メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い」をお読みください。

長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度:15 ℃～25 ℃、推奨湿度:40%RH～60%RHです)
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源を切っていても絶えず微少電流が流れています。
  これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをおすすめします。
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをおすすめします。

画像データについて

不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚/一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は､カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。無理な力で回すと本機のねじを損傷する恐れがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり､はがしたりすることがありますので､お気をつけください。
- 三脚/一脚の説明書もよくお読みください。
- DCカプラーおよびACアダプター接続時、三脚/一脚の種類によっては取り付けることができないものがあります。その場合は、三脚アダプター(別売：DMW-TA1)の使用をおすすめします。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので､あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は､改良により実際とは異なる場合があります。

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft Windowsは､米国Microsoft Corporationの商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- YouTubeは、Google Inc.の登録商標です。
- 本製品には､ダイナコムウェア株式会社の｢DynaFont｣を使用しております。
  DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

この装置は､クラスB情報技術装置です。この装置は､家庭環境で使用することを目的としていますが､この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると､受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

仕様

電源 消費電力	DC5.1 V 1.2 W（撮影時） 0.7 W（再生時）

カメラ有効画素数	1610万画素
撮像素子	1/2.33型CCD　総画素数1660万画素、原色カラーフィルター
レンズ	光学4倍ズーム　f=6.3 mm～25.2 mm（35 mmフィルムカメラ換算：35 mm～140 mm）/F3.5（W端時）～F5.9（T端時）
デジタルズーム	最大4倍
EX光学ズーム	最大9.0倍（300万画素［3M］以下時）
フォーカス	通常/AFマクロ/ズームマクロ/タッチAF･AE 顔認識/追尾AF/11点/1点/画面タッチエリア（タッチAF･AE時）
撮影範囲	通常：50 cm～∞ マクロ/インテリジェントオート/動画：10 cm（W端時）/50 cm（T端時）～∞ シーンモード：上記撮影範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
連写撮影：連写速度	約1.4コマ/秒（フリー連写）
高速連写：連写速度 連写枚数	約4.4コマ/秒 記録画素数：3M（4:3）、2.5M（3:2）、2M（16:9）、2.5M（1:1） 約15枚～100枚
ISO感度（標準出力感度）	[iISO]/100/200/400/800/1600 シーンモードの［高感度］：1600～6400
シャッタースピード	8秒～1/1600秒、シーンモードの［星空］：15秒、30秒、60秒
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/セットモード
露出	オート（プログラムAE）、露出補正（1/3 EVステップ、－2 EV～＋2 EV）
測光方式	マルチ測光
液晶モニター	3.5型TFT液晶（16:9、約23万ドット）（視野率約100%） タッチパネル
フラッシュ	撮影可能範囲：約30 cm～約4.9 m（W端、［iISO］設定時）
	オート/赤目軽減オート/強制発光（赤目軽減強制発光）/ 赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー（約70 MB）/SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード

記録画素数 写真	画像横縦比[4:3] 4608×3456画素/3648×2736画素/ 2560×1920画素/2048×1536画素/640×480画素 画像横縦比[3:2] 4608×3072画素 画像横縦比[16:9] 4608×2592画素 画像横縦比[1:1] 3456×3456画素
動画	MOTION JPEG(音声付き) [HD]設定時1280×720画素(カード使用時のみ) [VGA]設定時 640×480画素(カード使用時のみ) [QVGA] 設定時320×240画素
記録画像ファイル形式 写真 音声付き動画	JPEG(DCF準拠、Exif2.3準拠)/DPOF対応 QuickTime Motion JPEG
インターフェース デジタル アナログビデオ オーディオ	USB 2.0(High Speed) NTSC/PALコンポジット(メニュー切り換え) オーディオライン出力(モノラル)
端子 AV OUT/DIGITAL	専用ジャック(8 pin)
寸法	約 幅101.0 mm×高さ58.9 mm×奥行き18.2 mm(突起部除く)
質量	約147 g(カード、バッテリー含む) 約130 g(本体)
推奨使用温度	0 ℃〜40 ℃
許容相対湿度	10%RH〜80%RH
言語切換	なし(日本語のみ)

専用バッテリーチャージャー: DE-A91A

定格入力	100 V−240 V 50/60 Hz
入力容量	15 VA
定格出力	DC4.2 V 0.43 A

リチウムイオンバッテリーパック: NCA-YN101F

電圧/容量	3.6 V/660 mAh

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠危険

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕·⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。

・電源を切り、販売店にご相談ください。

電源プラグは、正しく扱う

火災・感電・ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流100 V～240 V以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠警告

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。
- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。
- 粉じんの発生する場所でも使わない

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※ 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。
- 本体やチャージャーには、金属部があります。

⚠注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離(数cm)で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1m以上離してください。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。

発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた･お手入れ･修理などは･･･

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	（　　）	ー	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは･･･

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」（103～110ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ
●品　番	DMC-FP7
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

（但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料　**診断･修理･調整･点検などの費用**
- 部品代　**部品および補助材料代**
- 出張料　**技術者を派遣する費用**

※補修用性能部品の保有期間　8年

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後８年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時～20時
電 話 フリーダイヤル **0120-878-638** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理ご相談窓口
電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 • 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検 長年ご使用のデジタルカメラの点検を!

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やチャージャーが破損した ・その他の異常や故障がある

ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話番号	所在地
北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高 山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

地区	拠点	電話番号	所在地
中国地区	鳥 取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広 島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳 島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天 草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 1210

さくいん

Q&A その他

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-638

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト

http://lumix.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 0120-878-554

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

• 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

VQT3F02-1
H1210HM1021